

**令和元年度(2019年度)  
第72回岩手芸術祭記録集**



**第72回岩手芸術祭実行委員会**

# < 目 次 >

1	総合フェスティバル	1
2	美術展	2
3	巡回美術展	2
4	小・中学校美術展	3
5	巡回小・中学校美術展	3
6	舞台等部門(演劇・伝統芸能・音楽・舞踊・演芸)／出演者公募	3
7	県民文芸作品集	5
8	文芸祭	5
9	移動公演	6
10	テーマ募集	6
11	アートフェスタいわて2019 -岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展-	6
12	受賞者一覧 (美術展、小・中学校美術展、ピアノ演奏会、県民文芸作品集、文芸祭)	7
13	審査員・選者等一覧(美術部門、舞台等部門、文芸部門)	12
14	実行委員会委員一覧	16
15	開催状況一覧	18
16	市町村別応募作品数一覧(美術、県民文芸作品集)	20
17	収支予算書(最終予算)	22
18	芸術祭賞受賞作品(美術、小・中学校美術)	23
19	ポスター等 (公募ポスター、総合ポスター、美術展ポスター、県民文芸作品集装丁デザイン)	27
20	付録	
	(1) 開催要綱	30
	(2) 実行委員会会則	32
	(3) 運営組織	34
	(4) 美術部門実行委員会運営規程	35
	(5) 実行委員会感謝状贈呈に関する規程・選考基準	36
	(6) 協賛事業の名義の使用承認事務手続要領	38
	(7) 美術展公募要項	42
	(8) 県民文芸作品集第50集公募要項	47
	(9) 文芸祭開催要項	48
	(10) 声楽部門演奏会出演者公募要項	49
	(11) ピアノ演奏会出演者公募要項	50
	(12) 小・中学校美術展作品募集要項	51

# 1 総合フェスティバル

## (1) 【盛岡開催】

1 開催日	令和元年10月5日(土)
2 会場	岩手県民会館／大ホール
3 鑑賞者数	2,000 人
4 内容等	<p>テーマ／「ビューティフル・ハーモニー」～明日という日のプロローグ～</p> <p>&lt;第1部&gt; ○「太鼓」宮古あばれ太鼓○「ダンス群舞とソロ」藤井淳子ダンススタジオ・金田尚子舞踊研究所○「フラメンコ&amp;津軽民謡」中田佳代子／岩手県民謡協会○「岩手の二大盆踊り競演」二戸市ナニヤトヤラ保存会／県立雫石高等学校郷土芸能委員会○特別出演「国指定重要無形民俗文化財 えんぶり」青森県八戸市塩町えんぶり組</p> <p>&lt;第2部&gt; ○式典「感謝のセレモニー」功労者表彰等(5参照)</p> <p>&lt;第3部&gt; ○「宝生流 高砂」金野泰大／岩手県能楽連合会○「吹奏楽」盛岡市立北稜中学校吹奏楽部／岩手県吹奏楽連盟○「マンドリン」岩手県立久慈高等学校マンドリン部○「ピアノ」佐藤彦大○「合唱」岩手大学教育学部附属小学校合唱部／岩手県合唱連盟○フィナーレ「あすという日が(合唱)」全員</p>
5 功労者表彰	<p>美術部門…… 松田津多子(日本画)・佐々木千治(洋画)・吉田晨風(書道)・松島哲夫(写真)・藤澤敬悦(デザイン)</p> <p>舞台等部門… 坂田裕一(演劇)・澤野宗桂(茶道)・駒米桐華(華道)・大橋文四郎(合唱)・増田真紀子(弦楽)・細田雅邦(三曲)・三上牧蔵(民謡)</p> <p>文芸部門…… 牛崎敏哉(文芸評論)・藤村孝一(短歌)・長谷川かよ子(俳句)・佐藤岳俊(川柳)</p>
6 その他	<p>(関連事業)第3回芸術体験イベント</p> <p>10月5日(土)・6日(日)に岩手県民会館全施設を会場にいけばな体験、合唱体験、楽器体験、能楽体験、お絵描きプログラミング体験など様々な体験イベントを開催した。また、10月24日(木)・25日(金)には展示室において日本画・版画・水墨画の体験コーナーを設けた。4日間の参加者は延べ6,190名であった。</p>

## (2) 【北三陸地区開催】

長い歴史を持つ岩手芸術祭の開催内容を拡充し、地域における鑑賞機会の提供や地域の文化催事と連携したフェスティバルを開催した。

1 開催日	令和2年1月17日(金)～19日(日)
2 会場	久慈市文化会館
3 鑑賞者数	1,000 人
4 内容等	<p>令和2年1月19日(日)</p> <p>○種市鳴海太鼓&amp;おおの鳴雷太鼓○フラメンコ&amp;津軽民謡○ダンス○ヒップホップダンス(野田村ダンスチーム)○夏井梵天神楽○中野流鶉鳥七頭舞(普代中学校)○マンドリン(久慈高校)○ピアノ(佐藤彦大)○合唱(山形中学校)○フィナーレ</p> <p><b>【入場無料】</b></p> <p>令和2年1月17日(金)～19日(日)</p> <p>巡回美術展・巡回小・中学校美術展</p>

## 2 美術展

岩手県内在住者及び県出身者等の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

### (1) 作品搬入・受付・審査

日 程		作品審査	点数	
作品搬入・受付	9月7日(土)	岩手県民会館	応募点数	763点
作品審査	9月8日(日)		入賞・入選作品数	714点

### (2) 美術展会期・会場

会 期		展示種目	会 場	鑑賞者数	展示点数
第1期	10月5日(土)～8日(火)	洋 画 彫 刻	岩手県民会館 展示室	4,025人	入賞・入選 714点 審査員等 71点 計 785点
第2期	10月17日(木)～20日(日)	工 芸 書 道			
第3期	10月24日(木)～27日(日)	日 本 画 版 画 水 墨 画			
第4期	11月1日(金)～4日(月振)	写 真 デ ザ イン 現 代 美 術			

### (3) 表彰式

11月17日(日)サンセール盛岡で芸術祭賞、優秀賞、奨励賞及び部門賞受賞者の表彰式を行った。

## 3 巡回美術展

美術展の上位入賞作品77点を県内7市町で巡回展示した。(計19日間・7会場)

会期	会場	出展作品数			
11月8日(金)～10日(日)	釜石市民ホール	日 本 画	7点	洋 画	8点
11月16日(土)～17日(日)	一戸町コミュニティセンター	版 画	8点	彫 刻	6点
11月19日(火)～20日(水)	軽米町中央公民館	工 芸	8点	書 道	8点
11月23日(土)～24日(日)	岩泉町民会館	写 真	8点	デ ザ イン	8点
11月26日(火)～28日(木)	山田町中央公民館	現代美術	8点	水 墨 画	8点
12月3日(火)～5日(木)	宮古市民文化会館	計 77点			
R2.1月17日(金)～19日(日)	久慈市文化会館	鑑賞者数	4,012人		

#### 4 小・中学校美術展

県内小学生の書写・絵画作品及び中学生の書道・美術作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

##### (1) 応募状況及び入賞者等

	小学校絵画	小学校書写	中学校美術	中学校書写	合計
応募点数	3,038点	1,376点	297点	1,139点	5,850点
応募学校数	46校	52校	15校	36校	149校
入賞者数	42点	39点	8点	10点	99点
入選者数	441人	364人	114人	234人	1,153人
入選のうち巡回展出品数	36点	96点	26点	103点	261点

##### (2) 小・中学校美術展会期・会場

会期	会場	鑑賞者数	展示点数
11月30日(金)～12月2日(日)	岩手県民会館展示室	2,126人	1,252点

#### 5 巡回小・中学校美術展

小・中学校美術展におけるすべての入賞作品と入選作品の中から巡回用に選定した作品を、県内各地で巡回展示した。

会期	会場	入場者	展示点数
1月8日(水)～10日(金)	釜石市民ホールギャラリー	587人	小学校絵画 78点
1月17日(金)～19日(日)	久慈市文化会館		小学校書写 135点
1月24日(金)～26日(日)	宮古市民文化会館		中学校美術 34点
1月28日(火)・29日(水)	九戸村公民館		中学校書写 113点
			計 360点

#### 6 舞台等部門

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数	
演劇	盛岡地区	11月2日(土)～3日(日)	岩手県演劇協会 (劇団赤い風)	アートサポートセンター 風のスタジオ	255人
	県南地区	R2.2月23日(日)	岩手県演劇協会 (北芸の会)	日本現代詩歌文学館 講堂	188人
	沿岸地区	11月17日(日)	岩手県演劇協会 (劇研麦の会)	宮古市民文化会館 中ホール	115人
	県北地区	R2.2月2日(日)	岩手県演劇協会 (二戸演劇協会The雲人)	二戸市民文化会館 大ホール	273人
	市町村民劇場	R2.2月8日(土)～9日(日)	岩手県演劇協会 (宮古市民劇)	宮古市民文化会館 大ホール	1,526人
	映像フェスティバル	11月30日(日)	岩手県演劇協会	もりおか町家物語館 浜藤ホール	48人

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数
華道展	10月11日(金) ～14日(月・祝)	岩手華道協会	岩手県民会館 展示室	1,450人
茶会	10月6日(日)	岩手県茶道協会	河南公民館 もりおか町家物語館 徳清倉庫	838人
吟詠剣詩舞道祭	10月13日(日)	岩手県吟剣詩舞道総連盟	岩手県民会館 大ホール	470人
謡と仕舞の会	11月10日(日)	岩手県能楽連合会	岩手県民会館 大ホール	280人
邦楽のつどい	11月17日(日)	岩手邦楽協会	岩手県民会館 中ホール	296人
ソロと室内楽の調べ	10月13日(日)	岩手県弦楽研究会	岩手県民会館 中ホール	164人
ピアノ演奏会	10月19日(土)	岩手県ピアノ音楽協会	岩手県民会館 中ホール	300人
三曲演奏会	10月20日(日)	岩手三曲協会	岩手県民会館 大ホール	529人
声楽部門演奏会	11月4日(月)	岩手声楽研究会	岩手県民会館 中ホール	334人
ギター音楽の夕べ	11月16日(土)	岩手県ギター協会	岩手県民会館 中ホール	203人
吹奏楽演奏会	11月23日(土)	岩手県吹奏楽連盟	盛岡市民文化ホール 大ホール	560人
合唱祭	12月1日(日)	岩手県合唱連盟	二戸市民文化会館 大ホール	770人
管弦楽フェスティバル	12月1日(日)	岩手県管弦楽連盟	岩手県民会館 大ホール	200人
JAZZダンス公演	11月3日(日)	岩手県洋舞協会	岩手県民会館 大ホール	1,200人
日本舞踊公演	11月24日(日)	岩手県邦舞協会	岩手県民会館 大ホール	1,000人
新舞踊発表会	R2.2月23日(日)	岩手県新舞踊協会	さくらホール 大ホール	1,050人
岩手民謡まつり	11月10日(日)	岩手県民謡協会	岩手県民会館 大ホール	800人
			計	12,801人

#### 【出演者公募】

(1) 声楽演奏会 公募出演者6人

(2) ピアノ演奏会 出演者24名

芸術祭賞 佐藤 南美／審査員特別賞 成瀬 はつみ

## 7 県民文芸作品集

岩手県内在住者及び県出身者等から、小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を決定した。

入賞作品及び入選作品の一部を掲載した県民文芸作品集第50集を刊行した。

### (1) 応募作品・受賞点数及び掲載作品数

応募作品数	掲載点数	受賞点数	刊行日
426点	130点	芸術祭賞 8点 優秀賞 7点 奨励賞 14点 第50集記念賞 7点	12月14日(土)

### (2) 表彰式

12月14日(土)サンセール盛岡で芸術祭賞、優秀賞、奨励賞及び第50集記念賞受賞者36名に対して表彰式を行った。

## 8 文芸祭

部 門	開催日／会場	内 容	参加者数
小 説	10月27日(日)	小説大会 県民文芸作品集の講評	11人
	岩手県民会館会議室		
戯 曲	1月11日(土)	戯曲ワークショップ 「出会いから、幕が上がるまで」講師 山田 百次	9人
	盛岡劇場タウンホール		
文芸評論	10月14日(月・祝)	文芸評論大会 講演と研究発表 講演「社会主義・共産主義と独裁」講師 望月 善次 〃「銀河鉄道とブラックホール」講師 牛崎 敏哉 招待講演「挑戦～芸術祭と吉本隆明のことなど～」講師 岩井 光和	9人
	岩手大学農学部 一号会議室		
随 筆	11月2日(土)	随筆大会 県民文芸作品集の講評	16人
	北上市市民交流プラザ		
児童文学	10月26日(土)	児童文学大会 ①県民文芸作品集応募作品の選評と合評 ②講演「創作意欲の根底には」講師 佐香 厚子	24人
	やはぱーく大研修室		
詩	10月20日(土)	詩の大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか	23人
	なはんプラザ会議室1		
短 歌	10月12日(土)	短歌大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞	104人
	盛岡市勤労福祉会館		
俳 句	10月26日(土)	俳句大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、各選者賞	85人
	盛岡市勤労福祉会館		
川 柳	11月24日(日)	川柳大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか	62人
	イーストピアみやこ		
計			343人

## 9 移動公演

開催地	種目	開催日	出演団体	会場	鑑賞者数
釜石市	洋舞	11月9日(土)	岩手県洋舞協会	釜石市民ホール	395人
奥州市	新舞踊	11月24日(日)	岩手県新舞踊協会	サンホテル衣川荘	91人
一戸町	合唱	12月21日(土)	岩手県合唱連盟	一戸町コミュニティセンター	270人
計					756人

## 10 テーマ募集

応募期間	令和元年 4月～ 5月31日		
応募総数	262点	応募者数	90人
選定方法	選定委員会を開催し、応募作品の中から優秀作1点、佳作4点を選定		
選定委員	赤澤篤司(実行委員会副会長・短歌)、石川西三(美術部門実行委員長・洋画)、佐藤勝政(ギター)、久慈幸恵(洋舞)、牛崎敏哉(文芸評論)、兼平玲子(俳句)		
表彰	10月5日(土)の開幕式典において優秀作作者を表彰		

【優秀作】 岩手芸術祭テーマ

「芸術で拓く 新しい時代 ともに築く 岩手の文化」 高橋 峻さん(花巻市)

【佳作】

「輝く岩手の文化 明日の君に会いに行く」 神田 由美子(奥州市)

「岩手の文化 人が織りなす 時代が紡ぐ」 菅原 颯馬(一関市)

「新たな時代へ その先へ！ 届けようわれらの美しき文化」 小田島 昂輝(一関市)

「令和黎明、岩手の文化ここにあり」 木村 賢一(盛岡市)

## 11 『アートフェスタいわて2019

—岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展—

(岩手県立美術館・岩手芸術祭実行委員会共催事業)

岩手芸術祭美術展の三賞及び美術展各部門から推薦された作家の作品100点と岩手県美術選奨受賞作家の作品をあわせて公開する企画展を実施。

会期	2月29日(土)～3月22日(日)		出品点数			
会場	岩手県立美術館		日本画	7点	洋画	17点
鑑賞者数	2,134人		版画	7点	彫刻	7点
ギャラリー トーク	3月1日(日)	写真・現代美術・デザイン	工芸	9点	書道	17点
	3月7日(土)	水墨画・書道	写真	12点	デザイン	7点
	3月8日(日)	版画・洋画	現代美術	6点	水墨画	11点
	<del>3月14日(土)</del>	<del>(日本画・工芸・彫刻)中止※</del>	計		100点	

※新型コロナウイルス感染防止のため、一部イベントを中止した。



## 12 第72回岩手芸術祭受賞者一覧

### 【美術展】

種目	賞名	作品名	氏名	居住地
日本画	芸術祭賞	川辺のひととき	関 尚 子	山田町
	優 秀 賞	あいすの瞳	高 橋 諒	山形県
	奨 励 賞	秋に舞う華	藤 原 妙 子	矢巾町
	奨 励 賞	日月星	松 田 津 多 子	盛岡市
洋画	芸術祭賞	ジナリ	伊 藤 真 理 子	盛岡市
	優 秀 賞	Session	鈴 木 史 帆	矢巾町
	奨 励 賞	大文字の郷	荻 原 國 昭	一関市
	奨 励 賞	インプレッション ～それでも表現することをやめない～	村 井 暁 子	花巻市
版画	芸術祭賞	こもれび	工 藤 勝 機	滝沢市
	優 秀 賞	勇躍の釜石	金 澤 龍 一	釜石市
	奨 励 賞	近くて遠い存在	小 野 寺 花 佳	盛岡市
	奨 励 賞	停泊	鈴 木 和 雄	矢巾町
彫刻	芸術祭賞	漂着	黒 沼 令	福島県
	優 秀 賞	エマルジョン	稲 垣 尚 花	盛岡市
	奨 励 賞	travel emotions	松 川 ナオ	矢巾町
	奨 励 賞	記憶のかたち	井 川 ゆ き な	盛岡市
工芸	芸術祭賞	光	高 橋 由 美	花巻市
	優 秀 賞	輪波	熊 谷 俊	盛岡市
	奨 励 賞	炎舞2019-II	竹 田 康 夫	盛岡市
	奨 励 賞	縄文の華	青 柳 ひ で 子	一関市
書道	芸術祭賞	郎士元詩	千 葉 桂 華	紫波町
	優 秀 賞	あしびきの	餘 目 彩 佳	盛岡市
	奨 励 賞	狄沖詩	兼 平 岱 夔	軽米町
	奨 励 賞	孫逖詩	清 水 嶺 鵬	宮古市
写真	芸術祭賞	蜘蛛の糸	高 橋 俊 明	花巻市
	優 秀 賞	曙光刺す	黒 田 隆 治	盛岡市
	奨 励 賞	父の思い娘の憂い	北 井 崎 昇	盛岡市
	奨 励 賞	五穀豊穡の儀	後 藤 靖 行	盛岡市
デザイン	芸術祭賞	2才のわが子とすごす毎日すごろく	鈴 木 健 一	埼玉県
	優 秀 賞	わたし達能面女子般若 わたし達能面女子小面	佐々木海太郎	盛岡市
	奨 励 賞	男は黙って膝をつく	藤 澤 敬 悦	花巻市
	奨 励 賞	少女	吉 田 康 則	盛岡市
現代美術	芸術祭賞	メッセージ	遠 藤 昭 子	北上市
	優 秀 賞	つくることつからないこと	村 上 紘 一	盛岡市
	奨 励 賞	Journal/at the riverside in Morioka	清 武 佳 世	盛岡市
	奨 励 賞	『学校に行かない』	中 崎 貴 子	岩手町
水墨画	芸術祭賞	里山のくらし	小 笠 原 妙 子	盛岡市
	優 秀 賞	飛滝	谷 藤 千 嘉 子	盛岡市
	奨 励 賞	岩魚の里	山 口 智 子	盛岡市
	奨 励 賞	激湍流水	小 野 寺 不 二 子	一関市

【小・中学校美術展】

1 小学校

	小学校絵画部門		小学校書写部門	
芸術祭賞	山谷 徠斗	長興寺小2	落合 崇大	向中野小2
	大平 ひかる	花巻小3	田澤 佳歩	向中野小4
	丹光 太郎	杜陵小6	渡辺 果歩	岩大附属小6
優秀賞	高橋 大地	高松小1	藤井 香凧	向中野小1
	千葉 悠希	牧堀小1	熊谷 紗和	鵜飼小1
	鈴木 柚乃	江釣子小1	柳谷 歩希	鵜飼小1
	青名 畑京悟	厨川小2	飯田 景香	向中野小2
	菊池 徠花	厨川小2	菊地 心唯	向中野小2
	八角 友菜	牧堀小2	其田 寧央	向中野小2
	吉田 蓮華	盛岡・中野小3	森本 理沙	高松小3
	佐々木 莉緒	鵜飼小3	柳谷 祐希	鵜飼小3
	澤村 透吾	種市小3	耕野 玲奈	鵜飼小3
	川原 麻咲	厨川小4	葛 卷 玲	山岸小4
	石倉 千歳	上田小4	八幡 まゆみ	山王小4
	高橋 琥太郎	江釣子小4	渡辺 菜月	岩大附属小4
	石橋 弘美	厨川小5	松村 滯	東松園小4
	高橋 琉花	盛岡・中野小5	玉井 瞭平	滝沢東小5
	夏井 二湖	江釣子小5	柳谷 咲希	鵜飼小5
	吉田 葉奈	津志田小6	柴垣 琴乃	仙北小6
	武田 心結	篠木小6	横沢 希和	津志田小6
藤原 凌太郎	江釣子小6	岡田 夢羽	津軽石小6	
奨励賞	亀岡 悠哉	山岸小1	堀越 りんか	山岸小1
	齋藤 晴惟	緑が丘小1	田中 結音	向中野小1
	岩脇 風真	高松小1	木幡 菖汰	岩大附属小1
	小山 倅平	向中野小1	山田 佐貴	山王小2
	高橋 佳大	厨川小2	畑山 莉子	向中野小2
	村上 陽翔	太田東小2	多田 愛唯莉	岩大附属小2
	清水 志織	花巻小2	神崎 結衣	向中野小3
	法貴 智誠	上田小3	伊藤 心結	向中野小3
	高橋 日向	大新小3	中 篤 花	奥中山小3
	熊谷 天音	鵜飼小3	高宮 蒼汰	岩大附属小4
	寒河江 美友	厨川小4	佐藤 翔一	岩大附属小4
	佐藤 舞	上田小4	舘 洞 旭	藤原小4
	遠山 聖基	滝沢東小4	堀越 ももか	山岸小5
	小原 紬	江釣子小4	森本 理央	高松小5

	小学校絵画部門		小学校書写部門	
奨励賞	舘田 優衣	厨川小5	菅生 紅恋葉	岩大附属小5
	佐藤 幸明	山岸小5	雨森 華倫	北松園小6
	貴志 ほのか	大新小5	小島 好葉	渋民小6
	小林 聖也	巻堀小5	伊東 鳳美	山口小6
	相馬 響	仁王小6		
	鈴木 煌人	上田小6		
	小澤 和歩	江釣子小6		

## 2 中学校

	美 術	
芸術祭賞	濱田 義仁	岩大附属中2
	米澤 亮太	岩大附属中3
優秀賞	早川 まなほ	岩大附属中1
	岡田 萌菜子	岩大附属中2
	吉田 晶瑛	岩大附属中3
奨励賞	中島 碧海	岩大附属中1
	高林 知世	下橋中2
	長畑 碧音	黒石野中3

	書 写			
	毛筆条幅入賞		毛筆半紙入賞	
芸術祭賞	小林 優香	厨川中3	玉井 しの	滝沢第二中3
優秀賞	大津 里佳子	下小路中2	遠藤 美佑	福岡中1
			藤原 蘭	乙部中2
			佐々木 梨乃	下小路中2
奨励賞	堀内 茉桜	津軽石中1	越前 はな乃	岩大附属中2
	小原 結菜	滝沢中3	平塚 雅子	城西中3

## 【ピアノ】

	氏 名	居 住 地
芸術祭賞	佐藤 南美	山田町
審査員特別賞	成瀬 はつみ	盛岡市

【県民文芸作品集】

種 目	賞 名	作 品 名	氏 名	居住地
小説	芸 術 祭 賞	菊坂	内 藤 賢 一	盛岡市
	優 秀 賞	交流の歌	神 山 千 之	盛岡市
	奨 励 賞	誓いの八相	藍 沢 篠	滝沢市
	奨 励 賞	掃き溜めの鶴子	古津 景二郎	盛岡市
	第 50 集 記 念 賞	綻び	本堂 裕美子	宮古市
戯曲・シナリオ	芸 術 祭 賞	該当作品なし	-	-
	優 秀 賞	該当作品なし	-	-
	奨 励 賞	ブン太狂想曲	中森 都志子	盛岡市
	奨 励 賞	家出論(佐藤くんの遺書より一部抜粋)	佐 藤 央 臣	滝沢市
	第 50 集 記 念 賞	該当作品なし	-	-
文芸評論	芸 術 祭 賞	星野天知の恋～天知と透谷の文覚論を中心として～	内 藤 賢 一	盛岡市
	優 秀 賞	該当作品なし	-	-
	奨 励 賞	該当作品なし	-	-
	第 50 集 記 念 賞	該当作品なし	-	-
随筆	芸 術 祭 賞	母さん、何しに来たの？	大 平 春 子	花巻市
	優 秀 賞	伊勢の月	工 藤 幸 子	盛岡市
	奨 励 賞	ベルが鳴るまで	橘 千 代 子	北上市
	奨 励 賞	海風香るあの街で	風 張 沙 樹	盛岡市
	第 50 集 記 念 賞	苦手なクリスマス	平 澤 和 志	盛岡市
児童文学	芸 術 祭 賞	スーパーりんごばあちゃん	佐々木喜久子	盛岡市
	優 秀 賞	コントラ	今 和 立	岩手町
	奨 励 賞	sugar veil	藍 沢 篠	滝沢市
	第 50 集 記 念 賞	シュークリーム	加藤 美南子	八幡平市
詩	芸 術 祭 賞	羽衣	久 慈 こうこ	野田村
	優 秀 賞	夜明け	黄 金 崎 舞	奥州市
	奨 励 賞	半分の月	柳清水和歌子	青森県
	第 50 集 記 念 賞	オカリナ	鳥 居 京 子	葛巻町
短歌	芸 術 祭 賞	ひとり居	羽 藤 堯	奥州市
	優 秀 賞	木洩れ日の日日	安 部 勝 衛	花巻市
	奨 励 賞	機織りの詩	東根 ただし	盛岡市
	奨 励 賞	白菊の花	阿 部 スミ子	奥州市
	第 50 集 記 念 賞	はずせぬ仮面	鈴 木 和 子	盛岡市
俳句	芸 術 祭 賞	魚信くる	安 部 克 詠	花巻市
	優 秀 賞	神馬	本 郷 明 子	山梨県
	奨 励 賞	草の実	さいとう 白沙	宮古市
	奨 励 賞	古城	後 藤 冴 子	花巻市
	第 50 集 記 念 賞	うろこ雲	上 野 節 子	花巻市
川柳	芸 術 祭 賞	雑詠	木 村 徹	宮古市
	優 秀 賞	雑詠	竹 本 よし	滝沢市
	奨 励 賞	雑詠	田 中 士 郎	滝沢市
	奨 励 賞	雑詠	鳥 居 澄 子	宮古市
	第 50 集 記 念 賞	雑詠	小 原 金 吾	盛岡市

【文芸祭】

部門	賞名	作品名等	氏名	居住地
詩	文芸祭賞	口笛	松崎 みき子	陸前高田市
	優秀賞	水たまりのうた	ル・ディアひろ子	花巻市
	奨励賞	道	渡邊 満子	北上市
短歌	文芸祭賞	山裾を染めてひろがる朝茜実る稲田を秋津飛び交ふ	工藤 百合枝	八幡平市
	優秀賞	点滴をしつつまどろむわれの手に触れてとほのく亡き母の影	岡田 紘子	盛岡市
	奨励賞	広き家に義姉一人住むわが生家家うち歩む杖の音こきゆ	菊池 悦子	奥州市
	選者賞 (小笠原和幸選)	「無言館」に行く坂道に拾ひたる青木どんぐりポケットより出づ	吉田 史子	盛岡市
	(鈴木八重子選)	夕べ吹く風の涼しさ弱りぬしわが体調の目覚めとならん	八重嶋 みね	紫波町
	(外館克裕選)	夏野菜ゆたけき夜の食卓にドラム奏者のごとく食ひつぐ	八重嶋 勲	紫波町
	(藤村孝一選)	「大丈夫、気にしないで」と言う私メンソレータム程度の強さ	熊谷 友里	盛岡市
(山本 豊選)	お袋と呼ばれし日より子を叱るこゑに力の入らぬあはれ	折居 路子	盛岡市	
俳句	文芸祭賞	鳥渡る大縄跳びの波の上	兼平 玲子	盛岡市
	優秀賞	秋簾しまふ頃合ひ風に訊く	沼里 恵美	盛岡市
	奨励賞	蓮の実の飛んで彼岸のこゑこぼす	和田 タケ	盛岡市
	選者賞 (白濱一羊選)	足元の空気に段差冬に入る	後藤 冴子	花巻市
	(小畑柚流選)	屈託を置き去りにする花野かな	内藤 麻子	盛岡市
	(小林輝子選)	山に降り街に溢るる秋出水	古川 公子	盛岡市
	(伊藤紫水選)	獲るまでは帰れぬ港秋刀魚船	さいとう 白沙	宮古市
	(名久井清流選)	秋気澄むハッカドロップのやうな朝	五日市 明子	盛岡市
	(加藤眞治子選)	まだ温し稲束のごと骨を抱く	工藤 幸子	盛岡市
(高橋みさ男選)	栗ごはんやつと労りあへる歳	沼田 和子	盛岡市	
川柳	文芸祭賞	母という大きな文字に似たフェリー	山岸 山河	洋野町
	優秀賞	令和絵図九条死守で描き上げる	野口 一滴	洋野町
	奨励賞	復興へ太鼓は風になりました	熊谷 岳朗	紫波町
	選者賞 (わたや忠志選)	呑まれゆく時代のうねり逆らえず	佐藤 光	宮古市
	(柳清水広作選)	母という大きな文字に似たフェリー	山岸 山河	洋野町
	(中野裕子選)	秋夜長明けの銀河で貌洗う	野口 一滴	洋野町
	(古館靖子選)	原発を売る原爆の被害国	澤瀬 海山	久慈市
	(塩釜アツシ選)	復興へ太鼓は風になりました	熊谷 岳朗	紫波町
	(佐藤岳俊選)	令和絵図九条死守で描き上げる	野口 一滴	洋野町
(熊谷岳朗選)	回れ右して青空を捕まえた	塩釜 アツシ	花巻市	

### 13 第72回岩手芸術祭審査員・選者等一覧

#### 【美術部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
日 本 画	西 川 善 有	岩手県日本画協会会長
	片 山 道 子	岩手県日本画協会事務局長
洋 画	日 下 信 介	洋画部門理事
	藤 澤 朋 広	洋画部門理事
	舞 田 信 也	洋画部門理事
	村 田 と も 子	洋画部門理事
	安 ヶ 平 愛 美	洋画部門理事
	山 崎 航 太	洋画部門理事
	山 本 淑 子	洋画部門理事
	渡 辺 鉦 悦	洋画部門理事
	阿 部 優	洋画部門理事
	石 川 酉 三	洋画部門理事
	大 久 保 義 雄	洋画部門理事
版 画	阿 部 陽 子	版画家
	田 村 晴 樹	画家
彫 刻	藤 島 明 範	彫刻家
工 芸	三 田 村 有 純	日展理事
	菊 池 房 江	岩手工芸美術協会会長
書 道	吉 田 晨 風	岩手書道協会会長
	堀 内 青 巒	岩手書道協会副会長
	野 田 杏 苑	岩手書道協会副会長
	大 河 原 節 子	岩手書道協会理事
	小 笠 原 光 華	岩手書道協会理事
	澤 藤 華 星	岩手書道協会理事
	玉 澤 岑 砦	岩手書道協会理事
写 真	熊 切 大 輔	公財)日本写真家協会会員
デ ザ イ ン	長 谷 川 羊 介	(株)ジェイアール東日本企画 クリエイト局 局長 クリエイトディレクター
	竹 村 育 貴	岩手デザイナー協会会長
現 代 美 術	松 永 康	NPO法人コンテンポラリーアートジャパン理事 武蔵野美術大学非常勤講師
水 墨 画	鈴 木 孝 男	岩手県水墨画協会会長
	岸 本 カ ヨ 子	岩手県水墨画協会副会長
	菊 池 一 政	岩手県水墨画協会副会長
	阿 部 慶 造	岩手県水墨画協会副会長
	工 藤 晴 男	岩手県水墨画協会副会長

【舞台等部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
ピ ア ノ	佐 藤 彦 大	ピアニスト
	佐 々 木 素	ピアニスト
	川 島 基	東京音楽大学大学院ピアノ科専任講師

【文芸部門選者】

県民文芸作品集	
小説	立川 ゆかり
	小原 守夫
戯曲・シナリオ	昆 明 男
	落合 昭彦
文芸評論	望月 善次
	牛崎 敏哉
随筆	須藤 宏明
	野中 康行
児童文学	千葉 留里子
	藤原 成子
	齋藤 英明
詩	北原 陽子
	花石 邦夫
	糠塚 玲
短歌	伊藤 幸子
	伊藤 淑子
	小野寺 政賢
	菊池 哲也
	山口 明子
俳句	白濱 一羊
	小畑 柚流
	川原 道程
	小林 輝子
	伊藤 紫水
	名久井 清流
	加藤 眞治子
	高橋 みさ男
川柳	佐藤 岳俊
	柳清水 広作
	あべ 和香

文芸祭	
詩	北原 陽子
	花石 邦夫
	糠塚 玲
短歌	小笠原 和幸
	鈴木 八重子
	外館 克裕
	藤村 孝一
俳句	山本 豊
	白濱 一羊
	小畑 柚流
	川原 道程
	小林 輝子
	伊藤 紫水
	名久井 清流
	加藤 眞治子
高橋 みさ男	
川柳	わたや 忠志
	柳清水 広作
	中野 裕子
	古館 靖子
	塩釜 アツシ
	佐藤 岳俊
熊谷 岳朗	



【文芸部門文芸祭講師】

種 目	氏 名	備 考
小 説	立 川 ゆ かり	県民文芸作品集選者
	小 原 守 夫	〃
戯曲・シナリオ	山 田 百 次	ホエイ<劇団野の上>
文 芸 評 論	岩 井 光 和	
	牛 崎 敏 哉	部門実行委員
	望 月 善 次	〃
随 筆	須 藤 宏 明	県民文芸作品集選者
	野 中 康 行	〃
児 童 文 学	佐 香 厚 子	漫画家

## 14 第72回岩手芸術祭実行委員会委員一覧

### 【親実行委員会】

区 分		氏 名	摘 要	
主 催 者		高 橋 久 代	岩手県文化スポーツ部 文化振興課総括課長	
		高 橋 嘉 行	岩手県文化振興事業団理事長	
		柴 田 和 子	【実行委員会会長】 岩手県芸術文化協会会長	
		鈴 木 孝 男	(一社)岩手県芸術文化協会副会長	
美術部門	洋 画	石 川 酉 三		
	版 画	鈴 木 和 雄		
舞 台 等 部 門	演 劇		大 森 健 一	
	伝 統 芸 能	邦 楽	室 岡 提 子	
		茶 道	鈴 木 宗 基	
	音 楽	声 楽	山 口 剛	【監事】
		弦 楽	菊 池 昭 子	【監事】
		三 曲	伊 藤 衡 山	
		吹 奏 楽	安 倍 一 洋	
	舞 踊	洋 舞	小 柳 玲 子	
		日 舞	花 柳 美 寿 晴	
	演 芸	新 舞 踊	高 橋 ト シ	
文 芸 部 門	詩	北 原 陽 子		
	短 歌	赤 澤 篤 司	【副会長】	
小・中学校美術展		加 藤 均	盛岡市立中野小学校副校長	
地 域	久 慈 満 曠		【副会長】 久慈市芸術文化協会会長	
	大 畑 孝 夫		一関市芸術文化協会会長	

【美術部門実行委員会】

日本画	西川 善有	工 芸	阿部 裕之	デザイン	竹村 育貴
	花立 ゆかり		竹田 康夫		吉田 康則
洋 画	石川 西三	書 道	吉田 晨風	現代美術	小笠原 卓雄
	岩 渕 毅弘		熊谷 碓斗		浅 倉 伸
版 画	日山 登啓	写 真	久慈 省一郎	水墨画	鈴木 孝男
	鈴木 和雄		藤村 政憲		北村 義美
彫 刻	清武 英司				
	曾根 達也				

【舞台等部門実行委員会】

演 劇	大森 健一	合 唱	山田 靖了	ギター	橋本 博行
	鬼沢 陽子		及川 尚樹		佐藤 勝政
能 楽	菊池 昭二	声 楽	山口 剛	管弦楽	寺崎 巖
	佐野 剛章		丸岡 千奈美		田口 博子
邦 楽	福士 幸雄	弦 楽	菊池 昭子	洋 舞	小柳 玲子
	室岡 提子		増田 真紀子		久慈 幸恵
茶 道	鈴木 宗基	三 曲	伊藤 衡山	日 舞	花柳 美寿晴
	平野 宗蕙		立野 呈山		若柳 吉聖
華 道	猿子 滋苑	吹奏楽	安倍 一洋	民 謡	藤沢 清美
	小原 宏華		小山 智弘		三上 紀子
吟詠 剣道 詩舞 道	立身 岳元	ピアノ	千葉 浩子	新舞踊	高橋 トシ
	金沢 岳貞		成瀬 ゆかり		鈴木 孝四郎

【文芸部門実行委員会】

戯 曲	昆 明 男	詩	松崎 みき子	俳 句	山火 律子
	倉持 裕幸		兒玉 智江		兼平 玲子
文 芸 評 論	望月 善次	短 歌	北原 陽子	川 柳	工藤 幸子
	牛崎 敏哉		山本 豊		熊谷 岳朗
随 筆	野中 康行		外館 克裕		伊藤 豊志
児 童 文 学	千葉 留里子		赤澤 篤司		
	佐々木 喜久子				
	加藤 典夫				

【実行委員会事務局】

事務局長	工藤 啓一郎	岩手県文化振興事業団 事務局長
事務局次長	佐々木 仁志	岩手県芸術文化協会 事務局長
事務局次長	平井 孝典	岩手県文化振興事業団総務部 総務課長
事務局員	神長 二三代	岩手県文化スポーツ部文化振興課
	久保田 幸恵	岩手県文化振興事業団総務部総務課
	千葉 達也	〃
	藤村 恵玉	〃
	鈴木 宣子	〃
	岩崎 桂子	岩手県芸術文化協会

## 15 第72回岩手芸術祭開催状況一覧

事業名		期 日	会 場	入場料金	入場者数
開幕式典・総合フェスティバル		10月5日(土)	岩手県民会館／大ホール	無料	2,000人
総合フェスティバルin北三陸		令和2年1月19日(日)	久慈市文化会館	無料	1,100人
美術展	1期 洋画／彫刻	10月5日(土)～10月8日(火)	岩手県民会館／展示室	300円 高校生以下無料	4,025人
	2期 工芸／書道	10月17日(木)～10月20日(日)			
	3期 日本画／版画／ 水墨画	10月24日(木)～10月27日(日)			
	4期 写真／デザイン／ 現代美術	11月1日(金)～11月4日(月振)			
巡回美術展	美術展入賞作品(77点)	11月8日(金)～11月10日(日)	釜石市民ホール	無料	4,012人
		11月16日(土)～11月17日(日)	一戸町コミュニティセンター		
		11月19日(火)～11月20日(水)	軽米中央公民館		
		11月23日(土祝)～11月24日(日)	岩泉町民会館		
		11月26日(火)～11月28日(木)	山田町中央公民館		
		12月3日(火)～12月5日(木)	宮古市民文化会館		
		令和2年1月17日(金)～19日(日)	久慈市文化会館		
美術展 小中	小・中学校 書写、絵画	11月29日(金)～12月1日(日)	岩手県民会館／展示室	無料	2,126人
巡回美術展 小中	小・中学校美術展 入賞作品(360点)	令和2年 1月8日(水)～1月29日(水)	釜石市民ホールなど4会場	無料	587人
演劇	「劇団赤い風」公演	11月2日(土)～11月3日(日)	風のスタジオ(盛岡市)	1,800円(1,500円) ほか	255人
	「劇研麦の会」公演	11月17日(日)	宮古市民文化会館	無料	115人
	映像フェスティバル	11月30日(土)	もりおか町家物語館／浜藤ホール	1,200円(1,000円) ほか	48人
	「The雲人」公演	令和2年2月2日(日)	二戸市民文化会館／大ホール	500円 中学生以下無料	273人
	みやこ市民劇	令和2年 2月8日(土)～9日(日)	宮古市民文化会館	2,000円(1,500円) ほか	1,526人
	「北芸の会」公演	令和2年2月23日(日)	日本現代詩歌文学館(北上市)	1,000円ほか	188人
伝統芸能	茶会	10月6日(日)	河南公民館ほか	2,300円(2,000円)	838人
	吟詠剣詩舞道祭	10月13日(日)	岩手県民会館／大ホール	無料	470人
	謡と仕舞の会	11月10日(日)	岩手県民会館／中ホール	無料	280人
	華道展	10月11日(金)～14日(月・祝)	岩手県民会館／展示室	300円	1,450人
	邦楽のつどい	11月17日(日)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	296人

事業名		期 日	会 場	入場料金	入場者数
音 楽	ソロと室内楽の調べ	10月13日(日)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	164人
	ピアノ演奏会	10月19日(土)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	300人
	三曲演奏会	10月20日(日)	岩手県民会館／大ホール	1,000円	529人
	声楽演奏会	11月4日(月・振)	岩手県民会館／中ホール	900円 中学生以下無料	334人
	ギター音楽の調べ	11月16日(土)	岩手県民会館／中ホール	700円(500円) 中学生以下300円	203人
	吹奏楽演奏会	11月23日(土・祝)	盛岡市民文化ホール／大ホール	1,000円(700円) 小学生以下無料	560人
	合唱祭	12月1日(日)	二戸市民文化会館／大ホール	1,000円(800円) ほか	770人
	管弦楽フェスティバル	12月1日(日)	岩手県民会館／大ホール	1,000円 高校生以下無料	200人
舞 踊	JAZZダンス公演	11月3日(日・祝)	岩手県民会館／大ホール	4,500円(4,000円) ほか	1,200人
	日本舞踊公演	11月24日(日)	岩手県民会館／大ホール	3,000円	1,000人
演 芸	新舞踊発表会	令和2年2月23日(日)	さくらホール(北上市)	2,500円	1,050人
	民謡まつり	11月10日(日)	岩手県民会館／大ホール	2,000円(1,500円) 高校生以下無料	800人
文 芸 祭	小説大会	10月27日(日)	岩手県民会館／会議室	無料	11人
	戯曲大会	令和2年1月11日(土)	盛岡劇場／タウンホール	500円	9人
	文芸評論大会	10月14日(月・祝)	岩手大学農学部一号会議室	無料 懇親会1,000円	9人
	随筆大会	11月2日(土)	北上市市民交流プラザ会議室	無料	16人
	児童文学大会	10月26日(土)	やはばーく大研修室(矢巾町)	無料	24人
	詩の大会	10月20日(土)	なはんプラザ(花巻市)	1,000円	23人
	短歌大会	10月12日(土)	盛岡市勤労福祉会館	1,000円	104人
	俳句大会	10月26日(土)	盛岡市勤労福祉会館	1,500円	85人
川柳大会	11月24日(日)	イーストピアみやこ会議室	2,000円	62人	
県明文芸作品集第50集刊行		小説/戯曲・シナリオ/文芸評論/随筆/児童文学/詩/短歌/俳句/川柳		12月8日刊行	426人
移 動 公 演	洋舞公演	11月9日(土)	釜石市民ホール	無料	395人
	新舞踊公演	11月24日(日)	サンホテル衣川荘(奥州市)	無料	91人
	合唱公演	12月21日(土)	一戸町コミュニティセンター	500円	270人

※ 料金の( )内は、  
前売り料金

# 16 第72回岩手芸術祭市町村別応募作品数一覧

【美術部門】

	市町村	日本画	洋画	版画	彫刻	工芸	書道	写真	デザイン	現代美術	水墨画	計
盛岡	盛岡市	11	37	18	7	22	77	85	28	24	44	353
	八幡平市		1		1							2
	岩手町							4		1		5
	雫石町		10		1		1	1				13
	葛巻町		1			1		1				3
	滝沢市	1	5	2			13	5	7	1	7	41
	紫波町		6	2		2	8	6			3	27
	矢巾町	4	3	2	3		3	2	4		1	22
	小計	16	63	24	12	25	102	104	39	26	55	466
中部	花巻市	1	9			8	7	9	2	1	3	40
	遠野市		2			4	2	2		1		11
	北上市		8	2	2	3	4			3		22
	西和賀町											0
	小計	1	19	2	2	15	13	11	2	5	3	73
県南	奥州市	2	9	2	2	5	6	1			1	28
	金ヶ崎町		1					1				2
	一関市	2	9	1	1	3	3			2	12	33
	平泉町	1					1					2
	小計	5	19	3	3	8	10	2	0	2	13	65
沿岸南部	大船渡市		1				2	2			2	7
	陸前高田市						2				1	3
	住田町											0
	釜石市		10	2		2	3	4	6		2	29
	大槌町							1	1			2
	小計	0	11	2	0	2	7	7	7	0	5	41
宮古	宮古市	2	20	1			19	6		3	1	52
	山田町	9	1				1	2				13
	岩泉町		1			3		1				5
	田野畑村		1				1					2
	小計	11	23	1	0	3	21	9	0	3	1	72
県北	久慈市		5			2		8				15
	洋野町						1					1
	野田村											0
	普代村											0
	二戸市		5				3	2				10
	一戸町		2				1				1	4
	軽米町		3			1	1					5
	九戸村											0
	小計	0	15	0	0	3	6	10	0	0	1	35
県外	1	1		2	3	2		1		1	11	
合計	34	151	32	19	59	161	143	49	36	79	763	

【県民文芸作品集】

		小説	戯曲	文芸評論	随筆	児童文学	詩	短歌	俳句	川柳	計
盛岡	盛岡市	9	1	1	15	1	17	22	57	12	135
	八幡平市					1			2		3
	岩手町	1				1	1		1	2	6
	雫石町				1				1		2
	葛巻町						1		1		2
	滝沢市	1	1		2	1	3	3	2	2	15
	紫波町						2		6	4	12
	矢巾町							1			1
	小計	11	2	1	18	4	24	26	70	20	176
中部	花巻市	2			7	1	14	4	22	9	59
	遠野市				2					3	5
	北上市	1			2		6	7	23	1	40
	西和賀町										0
	小計	3	0	0	11	1	20	11	45	13	104
県南	奥州市	2			2	1	4	8	17	4	38
	金ヶ崎町				4				3		7
	一関市				2		2	3	7	3	17
	平泉町				1				1	1	3
	小計	2	0	0	9	1	6	11	28	8	65
沿岸南部	大船渡市				2		2		1		5
	陸前高田市						4	1	3		8
	住田町						1			2	3
	釜石市								1		1
	大槌町							1			1
	小計	0	0	0	2	0	7	2	5	2	18
宮古	宮古市	2		1	2			1	6	4	16
	山田町							1	1		2
	岩泉町							2	1		3
	田野畑村										0
	小計	2	0	1	2	0	0	4	8	4	21
県北	久慈市							1	6	2	9
	洋野町								1	3	4
	野田村						3	1			4
	普代村								1	1	2
	二戸市									1	1
	一戸町								2		2
	軽米町										0
	九戸村										0
	小計	0	0	0	0	0	3	2	10	7	22
県外		1		1		12	1	2	3	20	
合計	18	3	2	43	6	72	57	168	57	426	

## 17 第72回岩手芸術祭実行委員会 収支予算書(最終予算)

### 1 収入の部

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
負 担 金	11,230	主催者、巡回展開催市町村
入 場 料 収 入	1,000	美術展入場料
諸 収 入	320	広告料、預金利子
繰 越 金	1,989	第71回会計より
合 計	14,539	

### 2 支出の部

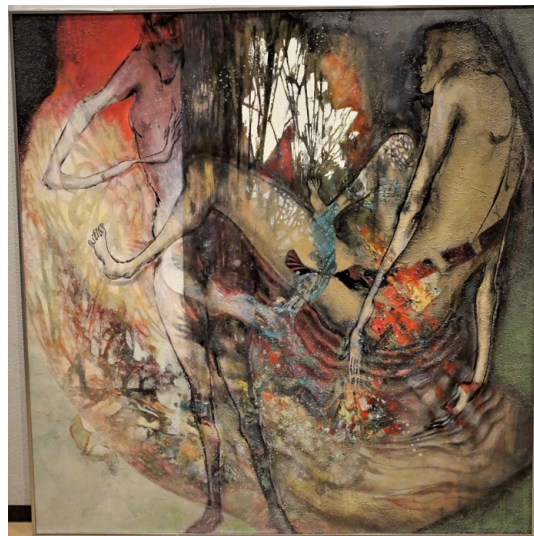
科 目	予算額	備 考
実 行 委 員 会	1,453	功労者表彰、新聞広告、印刷物製作
美 術 展	2,649	賞金、会場使用料、部門交付金
巡 回 美 術 展	2,288	写真パネル製作、作品輸送
小 中 学 校 美 術 展	372	小中学校美術展協会交付金
巡回小中学校美術展	32	〃
演 劇	648	部門交付金
伝 統 芸 能	779	〃
音 楽	1,182	〃
舞 踊	760	〃
演 芸	382	〃
移 動 公 演	469	〃
県 民 文 芸 作 品 集	1,198	選者謝金、賞金、作品集買上
文 芸 祭	464	部門交付金
予 備 費	1,863	
合 計	14,539	



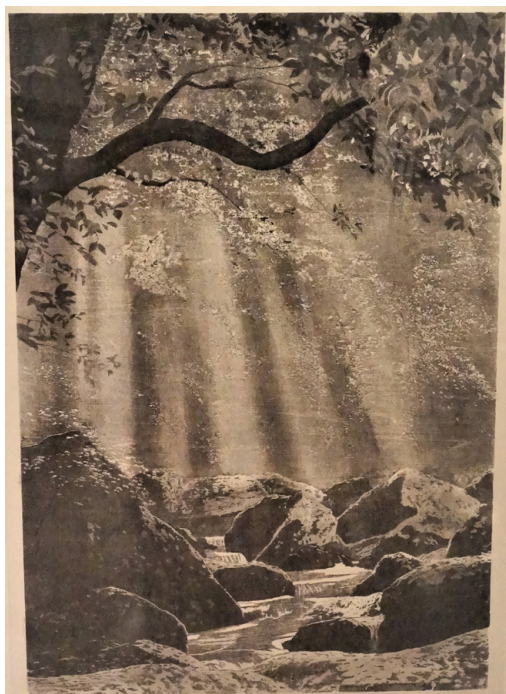
18 第72回岩手芸術祭賞受賞作品  
【美術展】



日本画「川辺のひととき」関 尚子(山田町)



洋画「ジナリ」伊藤真理子(盛岡市)



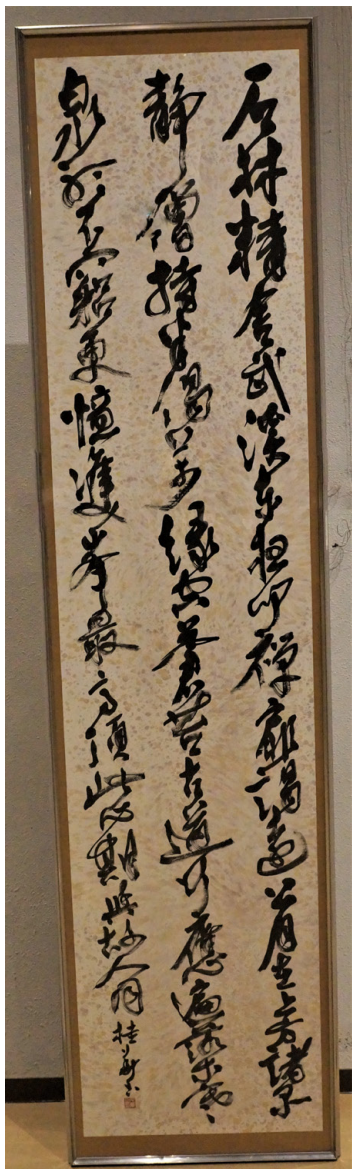
版画「こもれび」工藤勝機(滝沢市)



彫刻「漂着」黒沼 令(福島県)



彫刻「漂着」黒沼 令(福島県)



書道「郎士元詩」千葉桂華(紫波町)



写真「蜘蛛の糸」高橋俊明(花巻市)



現代美術「メッセージ」遠藤昭子(北上市)



デザイン「2才のわが子とすごす毎日すごろく」  
鈴木健一(埼玉県)



水墨画「里山の暮らし」小笠原妙子「盛岡市」

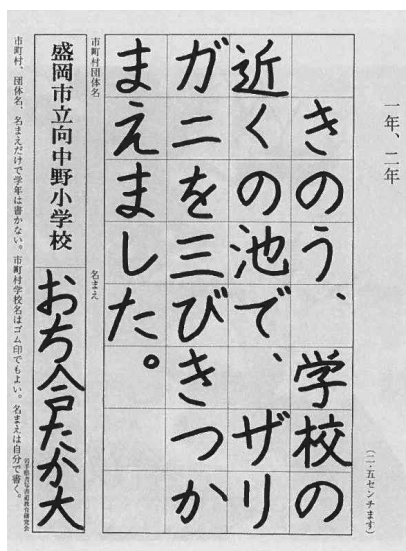
【小・中学校美術展】



「ザリガニ家ぞく」  
九戸村立長興寺小学校 2年 山谷徠斗



「夏の思い出」  
花巻市立花巻小学校 4年 大平ひかる



盛岡市立向中野小学校 1年 落合崇大



「ぼくの好きな赤レンガ館」  
盛岡市立杜陵小学校 5年 丹 光太郎



盛岡市立向中野小学校 4年 田澤佳歩



岩手大学教育学部附属小学校 4年  
渡辺果歩



「明るさと力強さ」  
岩手大学教育学部附属中学校 2年 濱田義仁



「春の光を追って」  
岩手大学教育学部附属中学校 3年 米澤亮太



滝沢市立滝沢第二中学校 2年 玉井しの



盛岡市立厨川中学校 3年 小林優香

19 ポスターデザイン

公募ポスター



総合ポスター

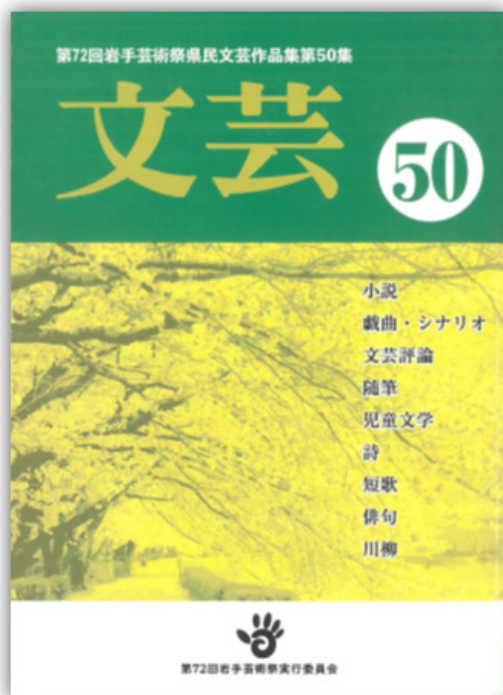


美術展ポスター



- 公募ポスター・総合ポスター
  - 大野 晃平(イラスト)
  - 吉田 康則(デザイン)
- 美術展ポスター
  - 佐々木 海太郎

県民文芸作品集第50集 装丁デザイン



(表)



(裏)

令和元年度(2019年度)  
第72回岩手芸術祭記録集

付 録



第72回岩手芸術祭実行委員会

## 第72回岩手芸術祭開催要綱

### 1 趣 旨

県民の優れた芸術文化活動の成果を発表し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、本県芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、豊かな県民性の高揚に資する。

### 2 名 称 第72回岩手芸術祭

### 3 主 催 岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手

### 4 後 援 盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

### 5 運 営 第72回岩手芸術祭実行委員会

### 6 期 間 令和元年10月 ～ 令和2年2月

### 7 会 場 岩手県民会館ほか

### 8 開催行事

#### (1) 開幕式典

#### (2) 美術展（巡回美術展）

日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画

#### (3) 小・中学校美術展（巡回小・中学校美術展）

小学校絵画、小学校書写、中学校美術、中学校書写

#### (4) 演 劇

#### (5) 伝統芸能

能楽、邦楽、茶道、華道、吟剣詩舞道

#### (6) 音 楽

合唱、声楽、弦楽、三曲、吹奏楽、ピアノ、ギター、管弦楽

#### (7) 舞 踊

日舞 洋舞

#### (8) 演 芸

民謡、新舞踊



(9) 移動公演

(10) 文 芸

ア 県民文芸作品集

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳

イ 文芸祭

小説大会、戯曲大会、文芸評論大会、随筆大会、児童文学大会、詩の大会、短歌大会、俳句大会、川柳大会

9 参加作品

- (1) 美術及び文芸の作品並びに声楽及びピアノの演奏発表は、本県関係者の中から公募する。公募要項は、各部門の種目ごとに定める。
- (2) 公募以外の部門の発表、展示等については、各部門が企画し、実行委員会の決定を経て実施する。
- (3) 参加作品は、実施種目ごとに一般公開する。公募作品については、実施種目ごとに公開する範囲を定めるものとする。
- (4) 小・中学校美術展の作品の公募は、岩手県小中学校美術展協会が県内の小・中学校を通じて行うものとする。

10 表彰等

- (1) 特に優れた美術、小・中学校美術及び文芸の作品並びに演奏発表に対しては、審査のうえ、芸術祭賞（文芸祭賞）、優秀賞及び奨励賞を贈る。また、実施種目ごとに部門賞及び入選等を設けることができる。
- (2) 展示、発表作品の審査を行うため、公募部門ごとに審査会又は選者をおく。審査員及び選者は、第72回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する。

11 開催経費

経費は、主催する機関、団体の負担金及びその他の収入をもって充てる。

12 協賛参加

芸術祭に自主的に参加を希望する公演、展示等は、実行委員会会長の協賛参加承認を得て行うものとする。

13 国民文化祭への協賛参加

会期を考慮し、第34回国民文化祭・にいがた2019へ協賛参加するものとする。

## 第72回岩手芸術祭実行委員会会則

(名称)

第1条 この会は、第72回岩手芸術祭実行委員会という。

(目的)

第2条 この会は、岩手芸術祭を円滑かつ総合的、効果的に運営することを目的とする。

(実行委員)

第3条 この会は、次に掲げる実行委員22人以内をもって組織する。

- (1) 岩手県文化スポーツ部文化振興課総括課長の職にある者
- (2) 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長の職にある者
- (3) 一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長及び副会長の職にある者
- (4) 一般社団法人岩手県芸術文化協会会長の推薦に基づき岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱した者
- (5) 岩手県小・中学校美術展協会の会長又は事務局長の職にある者

(役員)

第4条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
  - (2) 副会長 2人
  - (3) 監事 2人
- 2 会長は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長又は会長の職務代理の職にある者をもって充てる。
- 3 副会長及び監事は、実行委員の中から会長が委嘱する。
- 4 役員は、相互にこれを兼ねることができない。

(役員の仕事)

第5条 会長は、この会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ定める順序により職務を代理する。
- 3 監事は、この会の財務を監査する。

(実行委員の任期)

第6条 実行委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

(実行委員会会議)

第7条 この会の会議は、実行委員をもって構成し、岩手芸術祭の開催に係る次に掲げる事項について議決する。

- (1) 総合的な企画及び運営に関すること。

- (2) 事業計画及び予算に関すること。
- (3) 事業報告及び決算に関すること。
- (4) その他この会の運営に関する重要な事項

2 会議は、会長が招集する。

3 会議の議長は、会長がこれにあたる。

4 会議は、実行委員会の過半数の出席をもって開会し、出席者の過半数をもって決する。

#### (部門実行委員会)

第8条 岩手芸術祭の各部門の円滑な運営を図るため、必要に応じ、部門実行委員会を置く。

2 部門実行委員会は、次に掲げる事項について協議し、各部門の運営にあたる。

- (1) 各部門の企画及び実施に関すること。
- (2) 各部門の予算及び決算に関すること。
- (3) 実行委員会から付託された事項に関すること。
- (4) その他各部門の運営に関し必要な事項

3 部門実行委員会委員は、会長が委嘱する。

4 部門実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### (事務局)

第9条 この会の事務を処理するため、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

2 一般社団法人岩手県芸術文化協会に事務局の分室を置く。

3 事務局には、次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1人
- (2) 事務局次長 2人
- (3) 事務局員 若干名

4 事務局長は、公益財団法人岩手県文化振興事業団事務局長の職にある者をもって充て、その他の職員は会長が委嘱する。

#### (経費)

第10条 この会の運営に要する経費は、負担金その他の収入をもって支弁する。

#### (会計年度)

第11条 この会の会計年度は、実行委員会の設置の日に始まり、その年度の末日に終わる。

#### (補則)

第12条 この会則に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

この会則は、令和元年5月23日から施行する。

# 第72回岩手芸術祭運営組織 (案)

【実行委員会】

区分	種別	実行委員
主催者		4人 県文化スポーツ部 文化振興課総括課長 県文化振興事業団理事長 県芸術文化協会会長 " 副会長
美術展 (巡回美術展)	日本画、洋画、版画、彫刻、 工芸、書道、写真、デザイン、 現代美術、水墨画	2人
演劇	演劇	1人
伝統芸能	能楽、邦楽、茶道、華道、 吟剣詩舞道	2人
音楽	合唱、声楽、弦楽、三曲、 吹奏楽、ピアノ、ギター、管弦楽	4人
舞踊	日舞、洋舞	2人
演芸	民謡、新舞踊	1人
文芸 (県民文芸作品集) (文芸祭)	詩、短歌、俳句、川柳、児童文学、 戯曲、小説、随筆、文芸評論	2人
小・中学校美術展 (巡回小・中学校美術展)	小学校 絵画、書写 中学校 美術、書写	1人
地域		2人 市町村総合芸術文化団体
合計	合計	21人

岩手芸術祭主催者  
岩手県文化振興事業団  
岩手県文化振興事業団  
I B C 岩手日報社  
テレンコビイテレレレ  
めん朝日テレレレレ  
岩手朝日テレレレレ  
エフエム岩手

実行委員会会長  
(芸文協会長)

岩手芸術祭実行委員会事務局  
◎事務局長  
県文化振興事業団事務局長  
◎事務局次長  
県芸術文化協会事務局長  
県文化振興事業団総務課長  
◎事務局員  
県文化振興課職員  
県文化振興事業団職員  
県芸術文化協会職員

【部門実行委員会】

部門	種目	部門実行委員	
美術	日本画	2人	
	洋画	"	
	版画	"	
	彫刻	"	
	工芸	"	
	書道	"	
	写真	"	
	デザイン	"	
	現代美術	"	
	水墨画	"	
演劇	演劇	2人	
	能楽	2人	
	邦楽	"	
	茶道	"	
	華道	"	
	吟剣詩舞道	"	
	音楽	合唱	2人
		声楽	"
		弦楽	"
		三曲	"
吹奏		"	
ピアノ		"	
ギター		"	
管弦		"	
日舞		2人	
洋舞		"	
舞踊	民謡	2人	
	新舞踊	"	
	児童文学	児童文学	3人
		詩	"
		短歌	"
		俳句	"
		戯曲	2人
		小説	"
		随筆	"
		川柳	"
随筆		1人	
小説		"	
合計	7部門 37種目	75人	

## 第72回岩手芸術祭美術部門実行委員会運営規程

### (趣 旨)

第1条 この規程は、第72回岩手芸術祭実行委員会会則第8条第4項の規定に基づき、美術部門実行委員会（以下「委員会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (委 員)

第2条 委員会は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の推薦に基づき、第72回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する20人以内の委員をもって構成する。

2 委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

### (役 員)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長の選任は、委員の互選とする。

3 委員長は、委員会の業務を統括する。

### (会 議)

第4条 委員会の会議は、必要に応じて、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長がこれに当たる。

### (事務局)

第5条 委員会の事務を処理するため、必要に応じて、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

2 事務局に次の職員を置く。

(1) 事務局長 1人

(2) 事務局次長 2人

(3) 事務局員 若干名

3 事務局の職員は、委員の中から委員長が指名する。

4 事務局長は、委員会の事務を掌理する。

5 事務局次長は、事務局長を補佐する。

6 事務局員は、事務局長の命を受けて、委員会の事務を処理する。

### (補 則)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

## 岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する規程

### (目 的)

第1条 この規程は、岩手芸術祭に関する功勞について顕彰し、岩手芸術祭の発展に資することを目的とする。

### (感謝状を贈呈される者)

第2条 感謝状を贈呈される者は、個人又は団体であつて、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、多年にわたり芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募作品の審査員又は選者として、多年にわたり部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭の各部門の指導者として、永年にわたり後進の育成に尽力した者
- (4) その他特に表彰に値する功績があると認められた者

### (方 法)

第3条 顕彰は感謝状を贈呈して行い、その氏名及び団体名並びに事績を顕彰録等によって公表する。

- 2 感謝状には、記念品を併せて贈ることができる。
- 3 故人の場合は、感謝状その他を遺族に贈り追彰する。

### (実 施)

第4条 感謝状を贈呈される者は、岩手芸術祭実行委員会において承認されなければならない。

- 2 感謝状及び記念品は、岩手芸術祭実行委員会会長の名によって授与する。
- 3 その他この規程に関し必要な事項は、別に会長が定める。

### 附 則

この規程は、昭和55年5月21日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成元年9月5日から施行する。

## 岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する選考基準

### 1 趣旨

この基準は、岩手芸術祭実行委員会が感謝状を贈呈することについて、必要な事項を定めるものとする。

### 2 感謝状を贈呈される者

感謝状を贈呈される者は、次の各号に該当する者とする。

ただし、刑罰（道路交通法関係を含む。）を受けて2年を経過しない者は対象としない。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、概ね10年以上にわたって、岩手芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募部門の審査員又は選者として、概ね10年以上にわたって部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭各部門の指導者として、概ね20年以上にわたって後進の育成に尽力した者で、概ね60歳を超えている者
- (4) その他岩手芸術祭の運営等に携わり多大な功績を示し、特に表彰に値すると認められる者

## 岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認事務手続要領

### 1 申請手続

主催者は、当該事業が実施される期日（ポスターその他の印刷物等に「岩手芸術祭協賛事業」の名義を印刷する場合は、その印刷日）の遅くとも1か月前までに、岩手芸術祭実行委員会会長（以下「会長」という。）あての申請書（様式1）を提出するものとする。

この申請書には、次の書類を添付しなければならない。

- (1) 事業の概要（事業の目的、実施日時、会場、事業内容、事故防止対策、公衆衛生対策、入場料、共催・後援団体名等）
- (2) 事業の収支予算書
- (3) 主催者が民間団体である場合は、定款、寄附行為、会則、役員名簿、会員数、活動状況等当該団体の性格及び内容を明らかにする書類

### 2 承認の基準

岩手芸術祭協賛事業の名義の使用を承認する基準は、次のとおりとする。

- (1) 主催者が、次のいずれかに該当するものであること。
  - ア 国又は地方公共団体（公社、公団を含む。）
  - イ 公益法人（宗教法人を除く。）
  - ウ 新聞、ラジオ、テレビ等の報道機関
  - エ 岩手芸術祭の趣旨に沿う事業を実施しようとする企業等
  - オ 芸術文化団体、実行委員会その他の公益的団体（芸術文化活動そのものを目的としたものに限る。）
  - カ その他上記に準ずると認められるもの。
- (2) 事業の内容が、次の各号に適合するものであること。
  - ア 事業の内容が岩手芸術祭の趣旨に沿うものであること。
  - イ 事業が、特定の範囲ではなく、一般の人に公開されるものであること。
  - ウ 事業の資金計画が十分なものであること。
  - エ 営利を目的としないものであること。
  - オ 事業の実施に当たっては、事故防止対策、公衆衛生対策等に十分な措置が講ぜられているものであること。

### 3 承認の手続

会長は、主催者からの申請書を受理した場合は、2の基準に基づいて審査し、結果を申請者に文書により通知するものとする。



#### 4 主催者の責務

- (1) 事業の主催者及び関係者は、岩手芸術祭の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (2) 事業の主催者及び関係者は、2に掲げる基準の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (3) 事業の主催者は、所属する職員や関係者等が、前2号に該当する行為を行っている疑いがある場合は、会長に報告するとともに、必要な調査を行い、その事実が判明した場合は速やかに是正するとともに、その結果を会長に報告しなければならない。
- (4) 事業の主催者は、前号に係わり、会長から是正等についての指示があった場合は、これに従わなければならない

#### 5 承認の取消

事業の主催者が4の(4)の指示に従わないときは、会長は、承認を取り消すこととする。

#### 6 事業実施報告

事業の主催者は、事業の終了後、1か月以内に事業報告書（様式2）を会長に提出しなければならない。

(様式1)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会  
会長 様

〔申請者〕

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認について

下記事業について、第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の目的
- 3 事業の主催者
- 4 事業の実施期間及び会場

(添付書類)

- 1 事業概要（内容、入場料、後援団体等）が明らかになる書類
- 2 事業の収支予算書
- 3 主催者が民間団体の場合は、会則、役員名簿、会員名簿、活動状況等団体の性格・内容が明らかになる書類
- 4 その他必要と認める書類

(様式2)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会  
会長 様

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認に係る事業報告について  
年 月 日付け岩手芸術祭第 号で承認された事業が終了したので、関係書類  
を添えて報告します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の主催者
- 3 事業の実施期間
- 4 会場
- 5 出演者・出品者数
- 6 入場者数

(添付書類)

事業の収支決算書、後援者、プログラム・パンフレット、事業の内容を撮影した写真等を添付すること。

第72回

# 岩手芸術祭美術展

2019



## 公募要項

第34回国民文化祭・にいがた2019協賛事業

●作品搬入日 令和元年9月7日(土)

●受付会場 岩手県民会館

●美術展会場及び会期

岩手県民会館

〈第1期〉洋画／彫刻

10月5日(土)～10月8日(火)

〈第2期〉工芸／書道

10月17日(木)～10月20日(日)

〈第3期〉日本画／版画／水墨画

10月24日(木)～10月27日(日)

〈第4期〉写真／デザイン／現代美術

11月1日(金)～11月4日(月・振)

運営：第72回岩手芸術祭実行委員会

## ● 日本画

作品の規格	(1)作品は、すべて枠付として表装すること（ガラス抜き）を原則とし、軸装も許可する。 (2)100号以内とする。 (3)寸法は、枠付ではかること。 (4)作品はすぐ展示できるよう、金具、吊具は必ずつけること。
出品点数・出品料	1点3,000円、2点5,000円
審査員	西川善有（盛岡市） 片山道子（盛岡市）
合評会	10月27日（日）午後2時～会場にて審査員を囲んで実施する。
その他	岩手県民会館第1会議室にて作品搬入・受付を行う。
事務局	花立ゆかり 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅5-92-5-204 TEL 090-3587-1734

## ● 洋画

出品作品	出品者のオリジナル作品とする。 ※公募要項6公募作品の「未発表作品」の扱いについて、洋画部門では「審査を伴う公募展等に未発表の作品」とし、個展やグループ展など、審査のない展覧会で発表した作品は出品できる。
作品の規格	額を含み各辺2m以内、突出は50cmまでとする。規格サイズの場合はS120号（194×194cm）まで。F130号（194×162cm）は可。動植物、悪臭を発する作品、腐敗する可能性がある作品を除く。作品保護のため画面より突出した額（ガラスなし。アクリル板可。）を付けること。作品裏には作品重量に十分耐え得る吊り具、ひも、針金等を必ず付けること。
出品点数・出品料	1人2点まで。1点の場合は4,000円（高校生は2,000円）、2点の場合は6,000円（高校生は3,000円）
招待	本年度の洋画部門芸術祭賞受賞者は、次年度に限り招待する。出品は本人の意思にゆだねる。
審査員	洋画部門理事
合評会	10月6日（日）午後1時～ 審査員と出品者による合評会を開催する。
事務局	岩渕毅弘 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅9-1-1 県立不来方高等学校内 TEL 019-697-8247

## ● 版画

出品作品	版種は自由。公募展未発表の自作の版表現されたもので、複数表現できるもの。 （手彩色手法の作品は認めない）作品には題名とサインを必ず記入してください。
大きさ	額装を含めて縦・横、180cm以内の陳列に支障のないもの。
出品点数・出品料	2点まで3,000円、3点まで5,000円
審査員	阿部陽子（版画家）、田村晴樹（画家）
合評会	10月27日（日）午後2時から審査員を囲んで。
事務局	鈴木和雄 〒028-3601 紫波郡矢巾町高田9-40-15 TEL 019-611-0575

## ● 彫刻

作品の規格	出品作品は、大きさ2m×2m×2m以内のオリジナル作品とし、会場汚損並びに観客に危害を及ぼすおそれのある作品及び仏像彫刻を除く。 ただし、50kgを越す作品については、展示・運搬は出品者が行うものとする。
出品点数・出品料	1点3,000円（高校生は1,000円）、1点増すごとに1,000円加算
審査員	藤島明範（彫刻家）
事務局	曾根達也 〒028-3615 紫波郡矢巾町大字南矢幅9-1-1 県立不来方高等学校内 TEL 019-697-8247

## ● 工芸

出品作品 大きさ・重さ	美術工芸並びに産業工芸等、いずれの性格のものでもかまわないが、 <b>創作性の高い未発表のものであること。</b> 〔壁面〕180cm×150cm以内 〔立体〕50cm×50cm×50cm以内 立方体でない場合は、おおよその換算による大きさとする。重量50kg以内
出品点数・出品料	1点4,000円、1点増すごとに1,000円加算
審査員	三村村有純（日展理事） 菊池房江（岩手工芸美術協会会長） 工芸セミナー（審査講評を兼ねながら）9月8日（日）午後2時～3時 北ホテル2階会議室
事務局	竹田康夫 〒028-4134 盛岡市下田字陣場41-43 TEL 019-683-1425

## ● 書道

作品の種類・規格	(1)種 別 漢字、かな、篆刻・刻字、漢字かな交じり書（近代詩文書等）、前衛書 (2)仕上がり寸法 横1辺182cm（6尺）以内 縦1辺242cm（8尺）以内 面積1.48㎡（16平方尺）以内 重量15kg以内 (3)仕 立 額、枠装（帖、軸装は認めない） ガラス入りは認めない（アクリルは可）
出品点数・出品料	1人1点4,500円
審査員	吉田晨風（盛岡市） 堀内青巒（二戸市） 野田杏苑（滝沢市） 大河原節子（一関市） 小笠原光華（滝沢市） 澤藤華星（二戸市） 玉澤岑岩（盛岡市）
鑑賞会	10月20日（日）午後2時～3時 会場にて実施する。
事務局	熊谷碓斗 〒020-0866 盛岡市本宮2-35-1 盛岡商業高等学校内 TEL 019-636-1027

●  
写  
真

出品作品	(1)テーマ 自由。 種類 モノクロ、カラー いずれも可。未発表作品であること。 被写体が人物の場合、応募に際して必ず被写体本人の承諾を得ること。 (2)サイズ 単写真・組写真・連写真を問わずいずれも全体の仕上がりは、外寸42cm×51cm以上外寸120cm×210cmまでとする。 (3)木製パネルに限る。 (4)そのまま展示できるように、裏面に紐をつける。組写真、連写真は連結して搬入すること。 (注) 連結しない写真、蝶番の使用など他の作品に傷をつけるようなもの、及びガラス入り額等破損の恐れのあるものは受け付けない。
審査員	熊切大輔 (日本写真家協会会員)
審査	9月8日(日) 午前10時 公開審査とする(搬入場所)
出品点数・出品料	1人2点まで。42cm×51cm以上長辺100cmまで3,000円。左の寸法を超える長辺210cmまで4,000円。 高校生1,000円
その他	展示は原則として入選作以上を展示する。応募等の詳細は岩手県写真連盟ホームページ (iwsr.web.fc2.com) 参照 今年度より岩手県民会館第2会議室で受付を行う。
事務局	松本尚子 〒020-0015 盛岡市本町通1-16-1 TEL 019-623-8281

●  
デ  
ザ  
イ  
ン

応募資格	一般・大学生・専門学校生・高校生
出品作品	平面デザインに限ります。(立体及び半立体は不可) 社会的規範に反する作品は展示しない場合があります。 ・作品はすぐに展示できるように、パネル裏面に必ず吊り金具、ひも等をつけること。 A部門. ポスター及びイラストレーション B部門. 課題作品=(盛岡ロータリークラブ協賛) 21世紀の地球環境を考える。(地球をとりまく環境全般をテーマとします。)[「盛岡ロータリークラブ」は明記すること。マークは位置指定のみでも可。
作品の体裁・規格	(1)A部門. 自由作品はB0判パネル(145.6cm×103cm)・B1判パネル(103cm×72.8cm)・B2判パネル(72.8cm×51.5cm) (2)B部門. 課題作品はB1判パネル(103cm×72.8cm) タテ位置に限る。 ・出品目録の種別欄には、出品部門(A部門またはB部門)を記入のこと。
出品料	■一般/1点3,000円(1点増すごとに1,000円加算) ■大学生・専門学校生・高校生/1点1,000円(1点増すごとに500円加算)
審査員	長谷川羊介(クリエイティブディレクター) 竹村育貴(岩手デザイナー協会会長)
審査	9月8日(日) 午前11時20分~12時30分 公開審査(搬入場所)
事務局	佐々木海太郎 〒020-0132 盛岡市西青山3-35-12 グラフィコ内 TEL 019-647-3380

●  
現  
代  
美  
術

出品作品	「現代美術」とは「ものを見ること(視覚認識)」や「社会をどう見つめるか」ということを常に問題にしてきました。平面、立体、映像、インスタレーション、音響を含むものなど、様式や技法にとらわれない表現を扱います。今年度から屋内と野外展示(緑の広場)の2会場で募集します。
作品の規格	屋内展示 □立体、インスタレーション=床面積15㎡以内×高さ4m以内、平面=10㎡以内 野外展示 □[会場 緑の広場] 25㎡以内。必ず8月20日(火)までに事務局まで問い合わせの上、詳細を事前に確認すること。作品の規格が展示会場管理者の基準に外れる場合は屋外展示を許可できない場合もあります。
出品点数・出品料	1人2点まで。1点4,000円、2点5,000円(学生は1点3,000円、2点4,000円)
審査員	松永 康(NPOコンテンツポラリーアートジャパン理事、武蔵野美術大学非常勤講師)
事務局	浅倉 伸 〒020-0862 盛岡市東仙北2-2-29 TEL 090-7337-7232(直通)

●  
水  
墨  
画

作品の規格	(1)作品寸法 F8(38×45.5)以上~和紙全紙をメド (2)表装 額装(アクリル使用のこと。ガラス使用不可)・軸装
出品点数・出品料	1人1点 4,000円
出品申込	8月30日(金)までに事務局に申込みこと。
審査員	鈴木孝男(岩手県水墨画協会会長) 岸本カヨ子(岩手県水墨画協会副会長) 菊池一政(岩手県水墨画協会副会長) 阿部慶造(岩手県水墨画協会副会長) 工藤晴男(岩手県水墨画協会副会長)
事務局	北村義美 〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 TEL・FAX 019-661-8923

# 第72回岩手芸術祭美術展 公 募 要 項

## 1 趣 旨

県民の優れた芸術文化活動の成果を発表し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、本県芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、豊かな県民性の高揚に資する。

## 2 主 催

岩手県教育委員会・岩手県文化振興事業団・  
岩手県芸術文化協会・岩手日報社・IBC岩手放送・  
テレビ岩手・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・エフエム岩手

## 3 後 援

盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社  
胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

## 4 展示会場及び日時

岩手県民会館 展示室  
 <第1期> 洋画／彫刻  
 10月5日(土)～10月8日(火)  
 10時～17時(最終日は16時まで)  
 <第2期> 工芸／書道  
 10月17日(木)～10月20日(日)  
 10時～17時(最終日は16時まで)  
 <第3期> 日本画／版画／水墨画  
 10月24日(木)～10月27日(日)  
 10時～17時(最終日は16時まで)  
 <第4期> 写真／デザイン／現代美術  
 11月1日(金)～11月4日(月・振)  
 10時～17時(最終日は16時まで)

## 5 応募資格

岩手県内在住者、本籍が岩手県にある者、岩手県出身者または岩手県内学校の卒業生及び在学学生。(洋画、彫刻部門は中学生以下を除く、書道部門は高校生以下を除く)

## 6 公募作品

公募作品は、日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン・現代美術・水墨画の10部門とし、各部門の公募要項(裏面)による。作品は未発表作品とする。

## 7 作品の受付、返還

作品は所定の出品目録とともに下記のとおり所定の期日に搬入し、作品の裏面には所要の事項を記入した出品票をはりつけ、各部門の受付所に提出すること。

なお、出品物を受け付けたときは、受付証を交付するので、搬出のときの引換証とすること。

## 8 搬 入

### (1) 直接搬入

部 門	搬入場所	搬入日時
日本画	岩手県民会館第1会議室	9月7日(土) 10時～16時
写真	岩手県民会館第2会議室	
版画／デザイン／水墨画	岩手県民会館第1展示室	
洋画／工芸／書道／現代美術	岩手県民会館第2展示室	
彫刻	岩手県民会館地下収蔵庫	

### (2) 輸送搬入

部 門	あて先	搬入日
日本画／写真	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 岩手県民会館会議室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	9月7日(土)に限る。 ※輸送業者に配達日を指定すること。 (梱包表面に「美術展〇〇部門出品物」と大きく朱書きのこと。)
洋画／版画／彫刻 ／工芸／デザイン ／水墨画	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 岩手県民会館展示室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	

※書道、現代美術作品の輸送搬入は認めない。  
※輸送搬入の場合の出品受付証、出品目録、出品料は9月3日(火)までに各部門事務局あて送ること。

## 9 審査及び発表

審査は、第72回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱した審査員により、9月8日(日)に搬入会場で行い、部門ごとに、芸術祭賞(1点)、優秀賞(1点)、奨励賞(2点)及び部門賞を贈る。  
審査の結果は、本人あて通知する。

## 10 展示作業日

岩手県民会館  
 <第1期> 10月4日(金) 9時～21時  
 <第2期> 10月16日(水) 9時～21時  
 <第3期> 10月23日(水) 9時～21時  
 <第4期> 10月31日(木) 9時～21時

## 11 展 示

展示は、入賞・入選作品並びに招待作品とし、展示方法は実行委員会に一任のこと。  
ただし、彫刻は裏面記載のとおりとする。

## 12 搬 出

### (1) 直接搬出

部 門	搬出日時	搬出場所	注 意
洋画／彫刻	10月8日(火) 16時～17時	岩手県民会館 第1・2展示室	搬出指定日時に搬出しない場合は、実行委員会の指定する業者により荷造り、送料とも着払いで返送する。
工芸／書道	10月20日(日) 16時～17時		
日本画／版画 ／水墨画	10月27日(日) 16時～17時		
写真／デザイン ／現代美術	11月4日(月・振) 16時～17時		

### (2) 輸送搬出

部 門	搬出日時	注 意
洋画／彫刻	10月8日(火) 16時～17時	※輸送による搬出を希望する場合は事前に部門事務局へ申し出の上、指示に従うこと。
工芸	10月20日(日) 16時～17時	
水墨画	10月27日(日) 16時～17時	
写真	11月4日(月・振) 16時～17時	

※上記に記載された部門以外の輸送搬出は認めない。

## 13 表 彰

種目ごとに審査のうえ、芸術祭賞(1点・賞金3万円)、優秀賞(1点・賞金2万円)、奨励賞(2点・賞金1万円)を贈る。  
○表彰式 令和元年11月17日(日)(予定)  
(会場：サンセール盛岡)

## 14 巡回美術展

岩手県民会館での本展終了後、各部門の芸術祭賞1点、優秀賞1点、奨励賞2点及び部門賞のうち部門推薦作品(最大4点)、計8点を県内市町において巡回展示する。  
○巡回期間 令和元年11月8日(金)～令和2年1月19日(日)※予定  
○開催地 釜石市、一戸町、軽米町、岩泉町、山田町、宮古市、久慈市

## 15 その他

- 出品作品の不慮の災害による損害については、主催者はその責を負わない。
- 搬入・搬出及び荷造りの費用は、出品者の負担とする。
- 出品作品が本芸術祭の記録集、主催団体等が運営するインターネットのホームページ、報道及び広報などに掲載される場合があることを出品者があらかじめ容認の上、出品するものとして取り扱う。
- 報道機関の取材等に対しては、出品者の氏名、居住市町村名の情報提供及び作品の写真撮影を許可することができる。
- 別紙、出品目録及び出品票に記入された個人情報、審査結果の通知、展示目録等印刷物の作成、表彰式の開催案内など、岩手芸術祭美術展の運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切使用しない。

<b>美術展出品受付証</b>	出品料 <b>金</b> <b>円也</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           受付受領  </div>	作品番号（事務局記入） ※
出品作品	点受付		※
様 令和元年9月 日			※
第72回岩手芸術祭美術部門実行委員会		部門	

切……………り……………取……………り……………線……………

## 第72回 岩手芸術祭美術展 部門／出品目録

氏 名	男・女	年 齢	歳	職 業
住 所	TEL (自 宅) (携 帯)			

作品番号 (事務局記入)	題 名 (ふりがな)	種 別	大 き さ
※			
※			

- 搬出方法 ▶本人 ▶委託〔業者名 TEL ( ) 〕
- 県外の応募者は、岩手県との関わりをご記入下さい。（例：出身地名、在籍した学校名）  
（岩手県との関わり： )

●搬出日 10月20日(日) 16時から17時の間です。 ●搬出方法 ▼本人 ▼委託 (業者名 TEL ( ) )	住所 〒	氏 名	作品番号(事務局記入) ※	<b>書道部門出品票 (作品裏面右上部に貼付)</b>
			積 文 別紙(ガキ大(タテ) 用紙を用意して全文を書く)	題 名
	TEL	号		TEL

出 品 票 (書道・洋画部門以外)			
作品番号 ※	題 名		
氏 名		TEL	
住 所			

作品番号 ※	題 名		
氏 名		TEL	
住 所			

●出品票は作品裏面に貼付 ●※作品番号は記入しない

切……………り……………取……………り……………線……………

## 洋 画 部 門 出 品 票

作 品 票 A	作品番号 ※	大 き さ		キ リ ト ラ ナ イ	作品番号 ※	大 き さ		B
	題 名				題 名			
	氏 名	TEL			氏 名	TEL		
	搬出方法	本人：委託（業者名 )			搬出方法	本人：委託（業者名 )		

作 品 票 A	作品番号 ※	大 き さ		キ リ ト ラ ナ イ	作品番号 ※	大 き さ		B
	題 名				題 名			
	氏 名	TEL			氏 名	TEL		
	搬出方法	本人：委託（業者名 )			搬出方法	本人：委託（業者名 )		

●作品の裏側右上部に切り離さないでAのみのりづけする ●※作品番号は記入しない ●A、Bとも記入すること





# 第72回(令和元年度)岩手芸術祭『県民文芸作品集』第50集公募要項

- 趣 旨 第72回岩手芸術祭の一環として、『県民文芸作品集』を刊行し、文芸活動の振興を図る。
- 主 催 岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手県テレビ 岩手県エフエム岩手  
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手  
盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
- 後 援 盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
- 運 営 第72回岩手芸術祭実行委員会
- 応募資格  
岩手県在住者(経験者も含む)、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方  
県外の応募者については岩手県との関わりを記入すること。(かつて居住した岩手県の市町村名など)
- 公募種目

種 目	内 容	規 格	その他 (下記参照)
小 説	1人1篇	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	
戯 曲	1人1篇	原稿用紙50枚程度 点字は66枚程度	(1)・(2)
シ ナ リ オ	①演劇一幕もの ②ラジオドラマ ③テレビドラマ	(①)~(③を明示)	
文 芸 評 論	1人1篇。研究的内容のものも可とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	
随 筆	1人1篇	原稿用紙4枚 点字は6枚	(1)・(3)
見 聞 文 学	1人1篇。フイグショ、ノンフイグショを問わない。 少年少女詩、童謡の場合は3篇以内とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	(1)・(2)
詩	1人3篇以内とする。	1篇につき 原稿用紙3枚以内	(1)・(5)
短 歌	1人10首	原稿用紙1枚	(1)・(6)
俳 句	1人雑詠5句	ハガキ1枚又はメールにて応募のこと。 (句数が不足しないこと)	
川 柳	1人雑詠7句		

- 上記規格「原稿用紙」は400字詰原稿用紙であること。縦書き、右とじとし、ページ番号を付すこと。行あけ等を明確にすること。
- 小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、児童文学において、35字×35行程度に適宜削り付けた場合は、400字詰め原稿用紙換算枚数を明記すること。
- 随筆の枚数は本文のみとする。題名は欄外に記入し、1行目から本文を書き始めること。  
題名・住所・氏名・連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 児童文学については、1枚目には氏名を書かず、題名、本文から書き始めること。  
題名・住所・氏名・連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 詩については、行あけを明確にし、欄外に1篇毎の通し番号(1-1、1-2、1-2-1、2-2-1、2-2-2...)を付すこと。住所・氏名・連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 短歌については、欄外に題名を記入すること。  
題名・住所・氏名・連絡先等(「7 応募上の注意」参照)は裏面に記載すること。

※点字の場合  
32マスの点字器を使用した場合、点字用紙片面打ち16行を1枚とする。他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。  
(1)会話の部分は行を改め、「」を使用すること。  
(2)段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。  
(3)繰返符号は用いないこと。  
(4)句点を入れること。  
(5)墨字訳に当たって使用を希望する漢字がある場合は、別紙に簡易書きにすること。

- 応募上の注意  
(1)未発表の創作作品であること。(公表されていたことが確認された場合には、入賞・入選を取り消すことがあり  
ますので、十分注意してください。ただし、戯曲・シナリオについては、上演済みの作品も可)。  
(2)原稿用紙(A4またはB4)には、ペン又はボールペンを使用し、鉛筆は使用しないこと。(ワープロも可)  
(3)投稿後の訂正は認めないので、推敲のうえ、かい書で清書して、完全原稿で応募すること。  
(4)応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。  
(5)応募作品の末尾(別紙可、短歌にあっては裏面)に、①住所、②氏名(筆名を使用する場合でも、本名を必ず記入す  
ること)、③年齢、④性別、⑤電話番号及び⑥(お持ちの方は)電子メールアドレスを記入すること。
- 応募締切 令和元年8月31日(土)当日消印有効(受付開始は7月1日(月)とする。)
- 応募方法

- 電子メール: geijyutsu72@iwate-bunshin.jp(第72回岩手芸術祭実行委員会事務局)  
標題に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と明記し、応募作品はWord等のファイルにして添付のうえ送信す  
ること。ただし、短歌・俳句・川柳の作品については、本文記載も可とする。  
メール送信後1週間以上、作品を受信した旨の返信がない場合は事務局まで電話で問い合わせること。  
(2)郵送: 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号 岩手県民会館内 岩手県芸術文化協会『県民文芸作品集』係  
封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

- 選 者  
小 説 立川ゆかり 小原 守夫  
戯曲・シナリオ 昆 明男 落合 昭彦  
文 芸 評 論 牛崎 敏哉 赤崎 学  
随 筆 須藤 宏明 野中 康行  
見 聞 文 学 千葉留里子 藤原 成子 齋藤 英明  
北原 陽子 花石 邦夫 糠塚 玲  
短 歌 伊藤 幸子 伊藤 淑子 小野寺政賢 菊池 哲也 山口 明子  
俳 句 白濱 一羊 小畑 袖流 川原 道程 小林 輝子 伊藤 紫水  
名久井清流 加藤真治子 高橋みさ男  
佐藤 岳俊 柳清水広作 あべ 和香

- 入 賞  
入賞【全 種 目】芸術祭賞(各1点・賞金3万円)、優秀賞(各1点・賞金2万円)、奨励賞(各2点・賞金各1万円)、  
第50集記念賞(各1点・副賞)  
入選【種目による】佳作、選者賞など  
審査結果  
入賞、入選者には本人宛通知する。また、入賞者は、令和元年10月4日(金)に岩手県文化振興事業団のホームペー  
ジ上で発表する。  
表彰式 令和元年12月14日(土) (会場：サンセール盛岡)  
作品の発表  
入賞作品は、『県民文芸作品集』に掲載する。なお、詩、短歌、俳句及び川柳の4種目については、入選作品も掲載する。  
『県民文芸作品集』刊行予定日 令和元年12月14日(土)

- 個人情報の取り扱い  
応募者の個人情報は、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者につい  
ては、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。  
問合せ先  
岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内) 〒020-0023 盛岡市内丸13-1  
電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595 e-mail: geijyutsu72@iwate-bunshin.jp



# 第72回(令和元年度)岩手芸術祭『文芸祭』開催要項

- 1 趣 旨  
第72回岩手芸術祭の一環として、『文芸祭』を開催し、文芸活動の振興を図る。
  - 2 主 催  
岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社  
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手
  - 3 後 援  
開離地町村教育委員会 N H K盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
  - 4 運 営  
第72回岩手芸術祭実行委員会
  - 5 応募及び大会参加資格  
岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方
  - 6 種目毎の大会の内容

    - (1)小説  
令和元年10月27日(日) 午後1時30分～  
会場 岩手県民会館第4会議室(盛岡市内丸13-1)  
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師 立川 ゆかり 小原 守夫  
岩手県芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)  
電話 019(654)2235 FAX019(625)3595
    - (2)戯曲  
令和元年10月11日(土)午後1時30分～4時30分  
会場 盛岡劇場タウソホール(盛岡市松尾町3-1)  
参加費 500円  
内容 戯曲ワークショップ「出会いかから、幕が上がるまで」  
講師 劇作家・演出家・俳優 山田 亘次(ホエイ、劇団野の上)  
事務局 高村 明彦【〒020-0051 盛岡市下太田沢田 68-18 電話 090-1498-3591】  
運営委員 昆男 翁待 裕幸 高村 明彦
    - (3)文芸評論  
令和元年10月14日(月・祝)午後1時～5時(12時30分受付)  
会場 岩手大学農学部一号会議室(盛岡市上田 3-18-8)  
内容 講演と研究発表  
小講演：「銀河鉄道とブラックホール」 講師 牛崎 敏哉  
講演：「般若心経新訳」 講師 望月 善次  
研究発表：1～3人  
★発表資格：次の1.又は2.のいずれかを満たす方  
1.県民文芸作品集(評論の部)応募者。  
2.9月9日(月)までに事務局宛発表趣旨書(A4判、1枚程度)と共に申し出た方  
なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。  
無料  
参加費 無料  
事務局 牛崎 敏哉【〒025-0001 花巻市天下田 150-14 電話 090-2932-2628】  
運営委員 牛崎 敏哉 望月 善次  
その他 懇親会(参加費 1,000円)
    - (4)随筆  
令和元年11月2日(土)午後2時～  
会場 北上市市交流プラザ会議室(北上市新設町1-4-1 ツインモールプラザ西館2階)  
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師 須藤 宏明 野中 康行  
岩手県文化振興事業団事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)  
電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595
- (5)児童文学  
令和元年10月26日(土)午前10時30分～午後3時  
会場 やはばーく(矢巾町活動交流センター)大研修室(矢巾町大字又兵衛新田 6-15-5)  
内容 ①県民文芸作品集応募作品の選評と合評(午前10時30分～11時50分)  
②講演「創作意欲の根底には」(午後1時20分～3時) 講師 佐香 厚子  
事務局 加藤 典夫【〒020-0881 盛岡市天神町 1-29 電話 019(622)6304】  
運営委員 千葉 留里子 加藤 典夫 佐々木 喜久子
  - (6)詩  
令和元年10月20日(日)午前10時～  
会場 なはんプラザ(花巻市定任交流センター)会議室1(花巻市大通り1-2-21)  
会費 1,000円(当日受付。資料代ほか)  
応募作品 未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、上欄につき3枚以内で右とじのこと。ワープロ原稿はA4判に印字のこと。選者の講評をご希望の方は82円切手を貼った返信用定形封筒に本人宛先を記入の上、同封のこと。  
選者 北原 陽子 花石 邦夫 榎塚 玲  
表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか  
公募期間 令和元年7月1日(月)より9月1日(日)《必着のこと》  
事務局 岩手県詩人クラブ文芸祭「詩の大会」事務局  
(応募先) 【〒020-0124 盛岡市野川 3-7-3 東野方 北原 陽子 電話 019(64)3476】  
運営委員 北原 陽子 兒玉 智江 松崎 みき子
  - (7)短 歌  
令和元年10月12日(土)午前10時～午後3時頃  
会場 盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)  
会費 出詠料1,000円(学生は無料)、当日会費1,000円(弁当代含む)  
内容 (後日、互選のための詠草集に同封の払込取扱票にて払い込むこと)  
詠草 1首(未発表作品、はがきを使用のこと。学生は学校名を明記)  
選者 小笠原 和幸 鈴木 八重子 外館 克裕 藤村 孝一 山本 豊  
表彰 優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。  
表 優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。  
応募締切 令和元年8月31日(土)必着  
事務局 赤澤 篤司  
(応募先) 【〒020-0016 盛岡市名須川町 11-8 電話・FAX 019(625)5874】  
運営委員 赤澤 篤司 外館 克裕 山本 豊
  - (8)俳 句  
令和元年10月26日(土)午前10時～  
会場 盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)  
会費 1,500円(県民文芸作品集)入選作品集代を含む)  
内容 当季雑詠3句(投句締切 午前11時30分)  
選者 白濱 一羊 小畑 祐流 川原 道程 小林 紳子 伊藤 紫水 名久井 清彦 加藤 真治子 高橋 みさ男  
表彰 優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈るほか、各選者賞を贈る。  
事務局 工藤 幸子【〒028-4132 盛岡市深沢小前田 236 電話 019(683)3661】  
運営委員 山火 律子 兼平 玲子 工藤 幸子 及川 永心 佐々木 充 四日市 洋子
  - (9)川 柳  
令和元年10月13日(日)午前9時30分～午後4時  
会場 イーストピアみやこ1階会議室(宮古市宮町1-1-30)  
会費 2,000円(記念品・昼食・発表誌)  
内容 宿題と選者(各題2句、欠席投句拝受1,000円)  
「フェリー」 木村 徹 選 「秋」 中野 裕子 選 「市場」 古館 靖子 選  
「大波」 塩釜アツシ 選 「令和」 佐藤 岳俊 選 「雑詠」 熊谷 岳朗 選  
席題と選者(各題2句)  
「 」 わたやと志志 選  
「 」 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか  
事務局 伊藤 豊志【〒027-0028 宮古市神林5-25 電話・FAX 0193(62)1137】  
運営委員 岩手県山川柳連盟、宮古川柳会

令和元年度・第72回 岩手芸術祭  
**声楽部門演奏会**  
 出演者公募要項

**1 趣 旨**

県内に在住する声楽研究者に、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、広く県民に披露することにより、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的とする。

**2 主 催**

岩手県、岩手県文化振興事業団、岩手県芸術文化協会  
 岩手日報社、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ  
 岩手朝日テレビ、エフエム岩手

**3 後 援**

盛岡市、NHK 盛岡放送局、盛岡タイムス社、胆江日日新聞社、岩手日日新聞社

**4 運 営**

第72回岩手芸術祭実行委員会、岩手声楽研究会

**5 募 集 内 容**

演奏日時	令和元年11月4日(月・振)午後1時30分より
会 場	岩手県民会館中ホール
応募資格	年齢18歳以上の岩手県在住者、又は岩手県に本籍がある者
演奏内容	歌曲・オペラのアリア等、ひとり8分以内
伴奏者	各自、準備すること。事務局でも斡旋可能。
申込締切	令和元年8月31日(土)
出演経費	12,000円(チケット負担金を含む)
応募方法	所定の申込用紙に記入の上、下記申込先に郵送すること。
そ の 他	・著作権料のかかる曲目は演奏者の負担とします。 ・公募出演は連続2年までとします。
申込み・問い合わせ先	(〒020-0133) 盛岡市青山一丁目20-26 丸岡 千奈美 宛 (電話 019-647-1850)

**出 演 申 込 書**

申込日 令和 年 月 日

ふりがな 名前	昭和・平成 年 月生れ (満 歳) (千 ) (パート )		
生年月日	昭和・平成	年	月生れ (満 歳)
住 所	(千 )		
電話番号	( )		
曲 目 作 曲 者 (8分以内)			
歌い手の プロフィール			
ピ ア ノ ふりがな (伴奏者)			
伴奏者の プロフィール			

注)出演申込書に記入いただく個人情報は、演奏会運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切利用いたしません。



## 音楽部門ピアノ演奏会

## 出演者公募要項

1 趣 旨 県内に居住するピアノ学習者及び演奏家に、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、広く県民に披露することにより、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的とする。また、ピアノ音楽の活性化を願い、ジュニア部門、一般部門共に演奏会とし、一般部門は審査制を導入している。

2 主 催 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会  
岩手日報社 IBC 岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ  
岩手朝日テレビ エフエム岩手

3 後 援 NHK 盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

4 運 営 第72回岩手芸術祭実行委員会 (一社) 岩手県ピアノ音楽協会

5 開催日時 令和元年 10月19日(土) (開場 14:30) 開演 15:00～

6 会 場 岩手県民会館中ホール

7 応募資格 ジュニア部門 県内在住もしくは、岩手県出身者の18歳以上(年齢制限なし)の方。一般部門 一般部門と同じ条件で高校生以下の方。

8 審査員 第72回岩手芸術祭実行委員会が委嘱した下記の審査員により、審査を行う。(ジュニア部門及び一般部門の演奏者に対して審査員のコメントを貰える。)

審査員 林 苑子(ピアノリスト)  
佐々木 素(ピアノスト)  
川島 基(東京音楽大学大学院ピアノ科専任講師)

9 表 彰 ・最も優れた演奏に対して芸術祭賞を贈る。副賞として一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会より芸術祭賞には賞金30,000円。その他に、1年間一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会が主催するコンサート及び第73回岩手芸術祭に招待演奏する資格が与えられる。  
・部門賞として審査員から審査員特別賞を贈る。

10 演奏内容 ジュニア部門 10分以内の任意の曲(ソロ・連弾)  
一般部門 20分以内の任意の曲(ソロ・連弾)  
エントリー後の曲目の変更は認められません。

11 参加料 ジュニア部門 出演料12,000円 チケット負担金 3,000円(3枚分)計 15,000円  
一般部門 出演料15,000円 チケット負担金 3,000円(3枚分)計 18,000円

12 応募方法 所定の申込書に記入の上、申込書のみ9月4日(水)までに、下記申込先に郵送すること。(当日消印有効)申込み受付後、本人に振込用紙を送付する。振込用紙到着後、1週間以内に出演料を振込むこと。  
〒020-0117 盛岡市緑が丘2-2-11  
一般社団法人 岩手県ピアノ音楽協会 事務局  
電話・FAX 019-661-2927

13 その他 (1)連弾の出演料は、ワンステージとする。但し、チケットは、出演者人数分の負担とする。  
(2)振込み後の返金は致しかねます。  
(3)問い合わせ先は、申込先に同じ。

E-mail iwatepref-piano@iaa.itikeeper.ne.jp

第72回岩手芸術祭ピアノ演奏会【ジュニア】 出演申込書	
演奏形態 (演奏するものに○を つけてください。)	1 ソロ 2 連弾
ふりがな氏名	
住所	(〒 - ) ☎ ( ) - 学生
学校名	
演奏曲目	演奏時間 分
作曲者	※作品番号、調性を必ず明記して下さい。
師事者	※当協会会員師事者以外は連絡先も明記して下さい。 ☎ ( ) -

第72回岩手芸術祭ピアノ演奏会【一般】 出演申込書	
演奏形態 (演奏するものに○を つけてください。)	1 ソロ 2 連弾
ふりがな氏名	
住所	(〒 - ) ☎ ( ) -
演奏曲目	演奏時間 分
作曲者	※作品番号、調性を必ず明記して下さい。
プロフィール	(入賞の際は必須となりますので、出身地もご記入下さい。市町村単位で結構です。)

令和元年7月1日

各小・中・義務教育学校長 様

岩 手 県 知 事 達 増 拓 也  
岩 手 県 教 育 委 員 会 教 育 長 佐 藤 博  
第72回岩手芸術祭実行委員会会長 柴 田 和 子  
岩手県小・中学校美術展協会会長 畠 山 剛

## 第72回岩手芸術祭 小・中学校書写・美術作品募集について（お願い）

岩手芸術祭の一環として、本年度も小・中学校美術展（書写・美術作品）を開催し、書写・美術教育の振興に資するため、下記要項により作品を広く県内小・中学校より募集することになりました。つきましては募集要項をご覧の上、多数ご出品くださいますようお願い申し上げます。（小学校には義務教育学校前期課程、中学校には後期課程を含みます。）

### 第72回岩手芸術祭 小・中学校美術展作品募集要項

- 趣 旨 第72回岩手芸術祭の一環として、県内小・中学校児童、生徒の書写・美術を展示し、広く県民に児童、生徒の作品について鑑賞の機会を提供するとともに、本県小・中学校の書写・美術教育の振興をはかる。
- 主 催 岩手県、岩手県文化振興事業団、岩手県芸術文化協会、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手
- 後 援 岩手県教育委員会、盛岡市、岩手県小学校長会、岩手県中学校長会、岩手県小学校教育研究会国語部会  
岩手県書写書道教育研究協議会、岩手県小学校教育研究会図工部会、岩手県中学校教育研究会美術部会、NHK盛岡放送局盛岡タイムス社、胆江日日新聞社、岩手日日新聞社
- 運 営 第72回岩手芸術祭実行委員会、岩手県小・中学校美術展協会
- 応募資格と出品点数 岩手県内の小・中学校に在籍している児童、生徒の作品で個人制作、各部門1人1点とする。
- 応募作品 ○令和元年度に制作した作品で、各部門の定める規定に合致するものとする。  
○出品料は無料とする。  
○書写の応募作品は返却しない。美術作品について返却を希望する学校は、出品目録に記入すること。
- 出品方法 作品は学校を経由して所定の出品票（書写は不要）、出品目録及び出品者名簿を必ず添付して出品すること。  
各様式は、岩手県文化振興事業団ホームページ（<http://www.iwate-bunshin.jp/>）からダウンロードのこと。  
昨年度から変更しておりますので、お気をつけ願います。
- 受付期間 令和元年9月18日(水)から10月1日(火)まで。（10月1日(火)必着のこと。）
- 送 り 先

〈小学校絵画作品送付先〉	〈中学校美術作品送付先〉	〈小学校書写作品送付先〉	〈中学校書写作品送付先〉
〒020-0816 盛岡市中野2-12-1 盛岡市立中野小学校内 加藤 均 宛 TEL 019-653-4302	〒020-0013 盛岡市愛宕町1-1 盛岡市立下小路中学校内 大坂 忍 宛 TEL 019-623-7358 (7359)	〒020-0627 滝沢市狼久保795-1 滝沢市立滝沢東小学校内 鎌田 慎 宛 TEL 019-688-6602	〒020-0044 盛岡市城西町4-1 盛岡市立城西中学校内 小野寺 弥生 宛 TEL 019-623-9274

★小・中学校美術展にかかわるお問合せは中野小学校 副校長 加藤 均へお願いします。TEL 019-653-4302

- 審 査 岩手県小・中学校美術展協会会長が委嘱した審査員により審査する。
- 入賞入選者の発表 入賞・入選者は審査終了後、出品学校長宛通知するほか、入賞者については岩手日報を通じて発表する。
- 褒 章 すぐれた作品に対し、各部門ごとに芸術祭賞、優秀賞、奨励賞、その他の賞を贈る。
- 展 示 展示は入賞・入選作品のみとし、展示方法は岩手県小・中学校美術展協会へ一任する。
- 展示期間 令和元年11月29日(金)から12月1日(日)までの3日間とする。  
(11月29日～30日は9時から17時まで、12月1日は9時から16時まで)
- 展示会場 盛岡市内丸 岩手県民会館
- 巡回展 第72回岩手芸術祭巡回小・中学校美術展開催要項にもとづき、県内各地で巡回展示する。（作品は学年別、書写、絵画作品300点程度）巡回コースおよび日程については後日決定する。（巡回展の事務局は岩手県文化振興事業団総務部）
- 協 賛 第34回国民文化祭・いがた2019協賛事業

# 小・中美術作品応募について

## 1. 募集する作品

- (1) 種目 絵画、版画、デザイン（平面）とする。  
いずれか一人一点とする。
- (2) 主題 自由
- (3) 画材 クレヨン、パス、水彩などいずれでもよい。
- (4) 用紙 原則として4つ切（36cm×54cm）とする。台紙に貼り付けないこと。但し、版画の用紙が4つ切より小さい場合には、作品を台紙に貼りつけ4つ切サイズにそろえること。

## 2. 出品方法

- (1) 出品票・出品目録・出品者名簿を指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。
- (2) 出品票は作品裏面右下に天地を正しくして糊付けすること。
- (3) 作品は丸めたり折ったりしないで応募すること。
- (4) 県内小・中学校を通しての出品となるので、児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。
- (5) 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも必ず令和元年度版の出品票・出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。

### 【出品票】

13cm				9cm
題名				
学校・学年	立	学校	年	
氏名				

## 【美術出品目録】

郡		町		学校		TEL	
市		村		担当者名		FAX	
作品返却について (いずれかに○印を)	返却を希望しません。						
	返却を希望します。(宅配便による着払い) 審査会後(選外作品)、巡回展終了後の2回に分けて 3月予定						
	返却を希望します。(宅配便による着払い)まとめて1回で 3月予定 返却を希望します。(3回とも送付先学校に向いて受け取り)						
年	種	絵画	版画	デザイン(平面)	計		
1		点	点	点	点		
2		点	点	点	点		
6		点	点	点	点		
計		点	点	点	総計		点

### 作品返却についてお願い

- ① 盛岡管内の学校は、できるだけ速やかに送付先学校へ向いての受取りに協力願います。  
令和元年度の審査会は10月8日(火)開催予定です。選外作品については、次の日の10月9日(水)の盛岡市教研図工美術部会での引取りにご協力願います。
- ② 個票は割られないように、確実に糊付けしてください。(毎年、行方不明作品が出るため)

## 【出品者名簿 兼 審査結果送付票】美術・書写共通

※部門毎・学年単位で作成のこと。

立		学校		TEL	
				FAX	
部門【美術・書写(硬筆)・書写(半紙)・書写(条幅)】○で囲む 年 No.					
No.	氏名(漢字)	題名(美術部門のみ)	種	審査結果(審査会で○を付けます)	返
1				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
2				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
3				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
30				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
学年計(点)				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) 作品と同時に送付する入選賞状( )枚	

岩手芸術祭小・中学校美術展応募校 学校長様 担当者様  
 今回のご応募、誠にありがとうございました。過日の審査会において入賞・入選作品が決定いたしましたのでお知らせいたします。上記審査結果欄に○印がない場合は選外です。作品が返却になりましたら返却作品と名簿を照合いただき、記入ミスや枚数違いがないかご確認願います。  
 令和元年 10月 岩手県小・中学校美術展協会会長

# 小・中書写作品応募について

## 1. 募集する作品

- (1) 種目  
小学校1・2年は硬筆、3年以上は毛筆半紙(国産半紙判)とする。  
中学校は毛筆半紙か条幅のいずれか一人一点とする。
- (2) 用紙  
硬筆用紙は、岩手県書写書道研究会の書写コンクール硬筆用紙(B5判4ます×8ます:1ます2.5cm)とする。  
毛筆半紙は国産半紙判、条幅は縦書きとする。
- (3) 課題 後述の通り
- (4) 小学校の書体はかい書、中学校の書体はかい書または行書とする。
- (5) 毛筆作品の氏名は墨書すること。(表装しない)  
硬筆・毛筆とも、氏名をひらがなで書いた場合は欄外に漢字氏名を鉛筆で書くこと。学年は書かなくてもよい。

### 小1年硬筆

氏名	な	と	ば	
	り	お	が	あ
	ま	な	、	さ
	し	じ	わ	が
	た	大	た	お
	。	き	し	の
		さ	の	は
		に	て	っ

### 小2年硬筆

氏名	ま	が	近	
	え	二	く	き
	ま	を	の	の
	し	三	池	う
	た	び	で	、
	。	き	、	学
		つ	ザ	校
		か	り	の

## 毛筆

- (6) 作品の左上部に校名(○○立○○学校)を記すこと。(ゴム印可)
- (7) 作品の裏側右下に出品者名簿の番号を鉛筆で書くこと。
- (8) 規格に合わない作品は審査しない。

	半紙課題	条幅課題
小3	木	
小4	天 空	
小5	飛 行	
小6	伝 統	
中1	永 遠	夢の実現
中2	調 和	信念を貫く
中3	古典に学ぶ	無限の可能性

## 2. 出品方法

- (1) 出品目録(下記の通り)、出品者名簿(昨年同様)に迅速な受付・結果処理のため、書写作品についても出品者名簿を添付すること。様式は美術作品のものと同じを指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。
- (2) 県内小・中学校を通しての出品となるので、児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。
- (3) 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも必ず令和元年度版の出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。

## 【書写出品目録】

郡		町		学校		TEL	
市		村		担当者名		FAX	
年	種	硬筆	半紙	条幅	計		
1		点	点	点	点		
2		点	点	点	点		
6		点	点	点	点		
計		点	点	点	総計		点